

設 計 書

道路メンテナンス事業	課 長		課 長 補 佐		課 長 補 佐		係 長		審 査 者		設 計 者	
年 月 日	令和 8 年 8 月 日						工 事 概 要	港橋 橋長 L=58.4m 橋面防水工 1式 排水装置改修工 1式 舗装改修工 1式 防護柵取替工 1式 仮設工 1式 雑工 1式				
工 事 番 号	第 号											
一河一川名 路 線 名	市道 琴平港橋線 (港橋)											
施 行 位 置	阿久根市 港町 地内											
工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 港橋修繕工事(1工区)											
工 期	令和9年3月25日まで	施 行 方 法		直 営 ・ 請 負								
支 出 科 目	年 度	会 計		款		項	目	節				
	区 分		金 額			摘 要						
	設 計 額		円									
其 の 他	本橋梁は1978年に架設され、供用年数は48年になる。老朽化に伴い、支承部の腐食や鋼材部の防食機能の劣化など橋梁の損傷が著しく、危険な状況にある。そこで、橋梁詳細修繕計画に基づき、本橋梁の機能回復を図るべく補修を実施するものである。											

費 用	金 額	備 考
事 業 費	円	
工 事 費	円	
本 工 事 費	円	工事価格 円 消費税 相当額 円
附 帯 工 事 費		
測 量 及 び 試 験 費		
用 地 費 及 び 補 償 費		
換 地 諸 費 又 は 権 利 交 換 諸 費		
事 務 費		
事 務 雑 費		
工 事 雑 費		

設計概要

[illegible]

工 事 設 計 書		
設計書総括情報		
事 務 所 名	阿久根市	
設 計 書 名	実施設計書	
事 業 名	道路メンテナンス事業	
積算総括情報		
諸 経 費 体 系	A 公共	
適用単価区分	1 実施単価	
単価適用地区	31 北薩③	
単 価 適 用 日	0 令和 8年 8月 1日	
積算条件／諸経費情報	【 当 世 代 】	【 前 世 代 】
前払率 (%)	4 0 %	
工 種	1 2 橋梁保全	
施工地域	0 3 一般影響有り(2)現道4工種	
現場環境改善費	0 2 計上有り (市街地以外)	
消費税税率	0 4 消費税税率：1 0 %	
契約保証	0 1 金銭的保証を要す	

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
※※本工事費※※						X1000
橋梁修繕工 レベル 1						Y1ZZ6
橋面防水工 レベル 2						Y2R07
塗膜系防水層 HQペーブレン防水 人力						V0001 0
	446	m ²				施工内訳0-0001号表
舗装工 HQペーブレン舗装						V0002 0
	446	m ²				施工内訳0-0002号表
水抜管 塩ビ管 (V P 4 0)						T0043 0
	4	m				
キャップ φ40 溶融亜鉛メッキ						F0007 0
	12	箇所				
コンクリート削孔 (電動式コアローリングマシン) アンカー材径 43mmを超え54mm以下 削孔深 500mm以下						SQ361 0
	2	孔				施工内訳0-0006号表
ポリブタジエン系接着剤 γ=1.3kg/L						F0008 0
	1	kg				

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水装置改修工 レベル 2						Y2740
排水柵 鋼桁用Aタイプ						V0003 0
	6		個			施工内訳0-0007号表
排水柵 鋼桁用Bタイプ						V0004 0
	6		個			施工内訳0-0009号表
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機） 削孔径110mm以上128mm未満 削孔深さ200mm以上400mm以下						SQZ413 0
	12		孔			施工内訳0-0010号表
排水管撤去工 鋼管 従来型						V0005 0
橋梁架設工事の積算 P4-150	5.7		m			施工内訳0-0011号表
極小規模無収縮モルタル工 0.035m3 ポリマーセメントモルタル						V0006 0
橋梁架設工事の積算 P4-37	0.035		m3			施工内訳0-0012号表
舗装改修工 レベル 2						Y2124
アスファルト舗装版破碎 舗装版厚15cm以下，障害等無し 振動騒音対策不要 積込作業有り 機械施工	312		m ²			SQZ184 0 施工内訳0-0013号表
アスファルト舗装版破碎 舗装版厚4cmを超え10cm以下，障害等有り 積込作業有り 人力施工	135		m ²			SQZ184 0 施工内訳0-0014号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層(車道・路肩部) W=3.0m超 t =42mm, 密粒度 γ ャップ As(改質 I 型) 密度 2.35 t /m3, タックコート PK-4 As合材 100 t 未満/工事(通常時間帯)	446	m ²			SQ155 0 施工内訳0-0015号表
リブ式高視認性区画線(溶融式)設置工 線色: 白色 実線 施工幅 1 5 cm	110	m			S7004 0 施工内訳0-0016号表
区画線(溶融式)設置工(手動) 線色: 白色 破線 施工幅 1 5 cm	28	m			S7001 0 施工内訳0-0017号表
区画線(溶融式)設置工(手動) 線色: 白色 実線 施工幅 4 5 cm	3	m			S7001 0 施工内訳0-0018号表
区画線(溶融式)設置工(手動) 線色: 白色 矢印・記号・文字 施工幅 1 5 cm換算	33	m			S7001 0 施工内訳0-0019号表
薄層カラー舗装工 樹脂系すべり止め舗装工 RPN-501	77	m ²			S8532 0 施工内訳0-0020号表
防護柵取替工 レベル 2					Y2G19
小規模ビーム取替工	4	m			V0007 0 施工内訳0-0021号表
レール ϕ 76.3×2.8t×1995	1	本			F0011 0

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	レール φ 76.3×2.8t×1885					F0012 0
		1	本			
	スリーブ φ 650×4.5t×300 通常部					F0013 0
		1	個			
	スリーブ φ 650×4.5t×300 伸縮部					F0014 0
		1	個			
	取付ボルト M12×100 SUS					F0015 0
		2	個			
	伸縮スリーブ取付ボルト M10×50					F0016 0
		2	個			
仮設工	レベル 2					Y2138
	交通誘導警備員 B 配置人数（交代要員除く）：3人 交代要員：0人					S2580 0
		19	日			施工内訳0-0022号表
雑工	レベル 2					Y2154
	コンクリート殻積込・運搬（断面修復工） 運搬距離6.0km超7.5km以下 DID区間無し					S3383 0
		0.03	m 3			施工内訳0-0023号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬舗装版破碎 運搬距離6.5km超11.5km以下, DID無し 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下)	37	m3				SQZ101 0 施工内訳0-0025号表
現場発生品及び支給品運搬 トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t DID無し 4.0km超6.0km以下	0.08	t				SQZ207 0 施工内訳0-0026号表
処分費(直工内)						#0042
産業廃棄物受入料 コンクリート塊(無筋) 産業廃棄物税上乗せ相当額を含む	0.03	m3				S9910 0 *
産業廃棄物受入料 アスファルト塊(掘削) 産業廃棄物税上乗せ相当額を含む	37	m3				S9910 0 *
共通仮設費、現場管理費、一般管理費対象外						施工内訳0-0028号表 #0046
スクラップ ヘビーH2	0.08	t				F0017 0
直接工事費						
技術管理費						Z0006
			式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
極小規模鉄筋探査工					V0008 0
橋梁架設工事の積算 P4-68	1	m ²			施工内訳0-0029号表
現場環境改善費					Z0010
共通仮設費（ 率分）		式			
** 共通仮設費計 **		式			
** 純工事費 **					
現場管理費					
** 現場管理費計 **		式			
** 工事原価 **					
一般管理費					
		式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
契約保証費							
				式			
一般管理費等計							
工事価格							
消費税相当額							
				式			
請負工事費							
工事価格計							
消費税相当額計							
				式			
請負工事費計							

塗膜系防水層
HQペーブレン防水 人力

V0001

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0001号表

頁0-0010

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.5	人			R2500 1
防水工	1.2	人			R3800 1
普通作業員	0.7	人			R0200 1
ペーブレンプライマー 18L/缶 0.25L/m ² 100m ² ×0.25L×1.05	26.25	L			F0001 2
防水材 ペーブレンコート 25kg/箱 2.0kg/m ² 100m ² ×2.0kg×1.05	210	kg			F0002 2
4号硅砂 25kg/袋 0.7kg/m ² 100m ² ×0.7kg×1.05	73.5	kg			F0003 2
材料補正費	5	%			#02
諸雑費	5	%			材料費計 #01
					労務費計
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			

舗装工
HQペーブレン舗装

V0002

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0002号表

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.33	人			R2500 1
特殊作業員	0.99	人			R0100 1
普通作業員	1.99	人			R0200 1
レベリング混合物FB5（橋梁用） t=4cm ペーブレンファルト 100m2×2.35×0.04m×1.07	10.05	t			F0004
アスファルト舗装用成形目地材 ピタッとL型止水テープ 高25mm×幅75mm×厚3mm	25.2	m			F0005
導水管 クーレーⅡ型 φ18mm 溶融亜鉛メッキ 162.81m/446.17m2×100m2	36.49	m			F0006
アスファルトフィニッシュ	0.33	日			V1001 1 施工内訳0-0003号表
ロードローラ	0.33	日			V1002 1 施工内訳0-0004号表
タイヤローラ	0.33	日			V1003 1 施工内訳0-0005号表
諸雑費	12	%			#01 労務費・機材費計
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手（特殊）	1	人			R1400
軽油	54	L			T0002
アスファルトフィニッシャ [クローラ型] 排ガス1次 舗装幅2．4～6．0 m	4.9	時間			MA609
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			

ロードローラ

V1002

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0004号表

頁0-0013

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手（特殊）	1	人			R1400
軽油	36	L			T0002
ロードローラ [マカダム] 排ガス2次 質量10 t 締固め幅2.1 m	5	時間			MB610
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			

タイヤローラ

V1003

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0005号表

頁0-0014

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手（特殊）	1	人			R1400
軽油	35	L			T0002
タイヤローラ〔普通型〕 排ガス1次 質量8～20t	5	時間			MA708
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			

施 工 内 訳 表

頁0-0015

コンクリート削孔（電動式コアボーリングマシン）

SQ361

施工内訳0-0006号表

アンカー材径 43mmを超え54mm以下

削孔深 500mm以下

1

孔 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.091	人			R2500 1
特殊作業員	0.091	人			R0100 1
ダイヤモンドビット（コンクリート削孔用） 外径 6 4 . 7 mm	0.082	個			T0120 1
＊ ＊ 代表機労材規格 ＊ ＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《 施工パッケージ積算単価 》	1.00	孔			
＊ ＊ ＊ 単位当り計 ＊ ＊ ＊	1	孔			
A=5 アンカー材径 43mmを超え54mm以下 D=1 全ての費用			B=1 削孔深 500mm以下 E=1 IV-3-⑬-3		

排水桝 鋼桁用Aタイプ

V0003

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0007号表

1 個 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水桝 排水桝B 20kg/個未満	1	箇所			SQ175 施工内訳0-0008号表
橋梁用排水桝 鋼桁用Aタイプ 首下265 FC250本体 13.6kg/個 グレーチング含む	1	個			F0009
*** 単位当り計 ***	1	個			

排水桧
排水桧B 20kg/個未満

SQ175

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0008号表

頁0-0017

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.220	人			R0200 1
土木一般世話役	0.090	人			R2500 1
＊ ＊ 代表機労材規格 ＊ ＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《 施工パッケージ積算単価 》	1.00	箇所			
＊ ＊ ＊ 単位当り計 ＊ ＊ ＊	1	箇所			
A=2 排水桧B 20kg/個未満 C=1 IV-2-⑤-2			B= 排水桧	単価 [円／個]	

排水桝 鋼桁用Bタイプ

V0004

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0009号表

頁0-0018

1 個 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水桝 排水桝B 20kg/個未満	1	箇所			SQ175 施工内訳0-0008号表
橋梁用排水桝 鋼桁用Bタイプ 首下265 FC250本体 13.6kg/個 グレーチング含む	1	個			F0010
*** 単位当り計 ***	1	個			

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリート穿孔機[電動式コアローリングマシン] [簡易仕様型] 最大穿孔径 φ 25cm			コンクリート穿孔機 [電動式コアローリングマシン] 簡易仕様型 最大削穿孔径 φ 2 5 c m		M2800P
発動発電機賃料 ガソリンエンジン駆動，3.0kVA			発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 3 k V A		T0342
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		R0100
普通作業員			普通作業員		R0200

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット（コンクリート削孔用） 外径1 2 8 . 5 mm			ダイヤモンドビット φ 1 2 8 . 5 mm		T0124
ガソリン			ガソリン レギュラー スタンド		T0001
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=6 C=1 110mm以上128mm未満 Ⅱ-2-⑮-4			B=6 200mm以上400mm以下		

排水管撤去工
鋼管 従来型

V0005

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0011号表

橋梁架設工事の積算 P4-150

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.3	人			R2500 1
特殊作業員	0.8	人			R0100 1
普通作業員	0.5	人			R0200 1
諸雑費	2	%			#01 労務費計
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			

極小規模無収縮モルタル工
0.035m3 ポリマーセメントモルタル

V0006

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0012号表

橋梁架設工事の積算 P4-37

0.035 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.5	人			R2500 1
特殊作業員	1.5	人			R0100 1
普通作業員	1	人			R0200 1
諸雑費	6	%			#01
ポリマーセメントモルタル 無収縮	0.0413	m3			T0815
*** 合 計 ***	0.035	m3			
*** 単位当り計 ***	1	m3			

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ賃料(後方超小旋回) 山積0.45m3			バックホウ クローラ型 後方超小旋回型 山積0.45m3		T0478
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		R1400
普通作業員			普通作業員		R0200
軽油			軽油 パトロール給油		T0002

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=1 アスファルト舗装版 C=1 不要 F=1 有り H=1 IV-3-②-2			B=1 無し D=1 15cm以下 G=1 全ての費用		

アスファルト舗装版破砕
舗装版厚4cmを超え10cm以下，障害等有り
機械構成比： 労務構成比：

SQZ184
積込作業有り
材料構成比：

施 工 内 訳 表

人力施工
市場単価構成比： 標準単価：

施工内訳0-0014号表

1 m² 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
空気圧縮機賃料 可搬式エンジン掛，3.5～3.7m3／min 3. 5 ～ 3. 7 m 3 ／ m i n			空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3. 5 ～ 3. 7 m3／min		T0303
さく岩機 [コンクリートブレーカ] 2 0 k g 級			さく岩機 (コンクリートブレーカ) 2 0 kg級		M2807P
特殊作業員			特殊作業員		R0100
普通作業員			普通作業員		R0200
軽油			軽油 パトロール給油		T0002

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=1 アスファルト舗装版 D=5 4cmを超え10cm以下 G=1 全ての費用			B=2 有り F=1 有り H=1 IV-3-②-2		

施 工 内 訳 表

表層(車道・路肩部)W=3.0m超
t=42mm, 密粒度ギャップ As(改質 I 型)

SQ155

密度 2.35 t/m³, タックコート PK-4

施工内訳0-0015号表

As合材 100 t 未満/工事(通常時間帯)

1

m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルトフィニッシュ賃料 ホイール型, 舗装幅 2.3 ~ 6.0 m	0.001	日			T0477 1
タイヤローラ賃料 13 ~ 14 t	0.001	日			T0413 1
ロードローラ賃料 マカダム, 10 ~ 12 t	0.001	日			T0415 1
普通作業員	0.003	人			R0200 1
特殊作業員	0.001	人			R0100 1
運転手 (特殊)	0.001	人			R1400 1
土木一般世話役	0.000	人			R2500 1
アスファルト混合物 (新材) 密粒度ギャップ (改質 I 型)	0.106	t			T7003 1
アスファルト乳剤 PK 3・4	0.000	t			T7022 1
軽油	0.064	L			T0002 1
※※ 代表機労材規格 ※※	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m ²			

当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0016号表

リブ式高視認性区画線(溶融式)設置工
線色：白色

S7004 実線 施工幅 1 5 cm						1000	m	当り
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備	考	
リブ式高視認性区画線(溶融式)[手間] 実線 1 5 c m 時間的制約 無し 昼間単価	1,000.00		m			TB231		
リブ式高視認性区画線(溶融式)[材料] 実線 白 1 5 c m	1,000.00		m			T7120 1 JIS K 5665 3種		
軽油	59.00		L			T0002 1		
ガソリン	2.80		L			T0001 1		
諸雑費	2.0		%			#01		
*** 合 計 ***	1,000		m					
*** 単位当り計 ***	1		m					
A=1 白色 C=1 供用区間 E=1 無し				B=1 施工幅 1 5 cm D=1 昼間単価 F=1 VI-1-②-1				

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0017号表

区画線（溶融式）設置工（手動）
線色：白色

S7001
破線 施工幅 1 5 cm

1000 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
溶融式区画線（破線）[手間] 1 5 c m 時間的制約 無し 昼間単価	1,000.00	m			TB041
路面標示用塗料 3種1号 JIS K 5665 溶融 白	570.00	kg			T7104 1 JIS K 5665 3種
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	25.00	kg			T7111 1 JIS R 3301
接着用プライマー 区画線用	25.00	kg			T7110 1
軽油	52.00	L			T0002 1
諸雑費	5.0	%			#01
*** 合 計 ***	1,000	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=2 破線 C=1 施工幅 1 5 cm E=1 供用区間			B=1 白色 D=1 塗布厚 1 . 5 mm F=1 排水性舗装でない場合		
G=1 昼間単価 I=1 VI-1-①-1			H=1 無し		

施 工 内 訳 表

区画線（溶融式）設置工（手動）
線色：白色

S7001
実線 施工幅 4 5 cm

施工内訳0-0018号表

1000 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
溶融式区画線（実線）[手間] 4 5 c m 時間的制約 無し 昼間単価	1,000.00	m			TB031
路面標示用塗料 3種1号 JIS K 5665 溶融 白	1,700.00	kg			T7104 1 JIS K 5665 3種
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	75.00	kg			T7111 1 JIS R 3301
接着用プライマー 区画線用	75.00	kg			T7110 1
軽油	87.00	L			T0002 1
諸雑費	5.0	%			#01
*** 合 計 ***	1,000	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=1 実線 C=4 施工幅 4 5 cm E=1 供用区間			B=1 白色 D=1 塗布厚 1 . 5 mm F=1 排水性舗装でない場合		
G=1 昼間単価 I=1 VI-1-①-1			H=1 無し		

施 工 内 訳 表

区画線（溶融式）設置工（手動）
線色：白色

S7001
矢印・記号・文字 施工幅 1 5 cm換算

施工内訳0-0019号表

1000 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
溶融式区画線（矢印・記号・文字）[手間] 1 5 c m換算 時間的制約 無し 昼間単価	1,000.00	m			TB121
路面標示用塗料 3種1号 JIS K 5665 溶融 白	570.00	kg			T7104 1 JIS K 5665 3種
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	25.00	kg			T7111 1 JIS R 3301
接着用プライマー 区画線用	25.00	kg			T7110 1
軽油	116.00	L			T0002 1
諸雑費	5.0	%			#01
*** 合 計 ***	1,000	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=4 矢印・記号・文字 C=5 施工幅 1 5 cm換算 E=1 供用区間			B=1 白色 D=1 塗布厚 1 . 5 mm F=1 排水性舗装でない場合 H=1 無し		
G=1 昼間単価 I=1 VI-1-①-1					

薄層カラー舗装工
樹脂系すべり止め舗装工 RPN-501

S8532

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0020号表

頁0-0034

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
樹脂系すべり止め舗装工 歩道，自転車道 R P N - 501	100	m ²			TA520 標準市場単価×加算率補正係数
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当り計 ***	1	m2			
A=20 樹脂系すべり止め舗装工 RPN-501 C=1 時間的制約を受けない場合 F=1 新設アスファルト舗装 H=1 1.0m超え			B=9 樹脂系すべり止め舗装 D=1 夜間作業をしない G=1 トップコート有り I=1 VI-2-⑦-1	100m2未満	

小規模ビーム取替工

V0007

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0021号表

頁0-0035

4 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.5	人			R2500 1
普通作業員	2	人			R0200 1
諸雑費	10	%			#01 労務費計
*** 合 計 ***	4	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			

交通誘導警備員 B
配置人数（交代要員除く）：3人

S2580
交代要員：0人

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0022号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員 B	3.00	人			R2580
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=2 交通誘導警備員 B C=0 交替要員[人／日]			B=3 D=1	配置人数（交替要員除く）[人／日] Ⅱ-5-21-1	

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	1.30	人			R0200
ダンプトラック運転費 4 t 積級	0.69	日			SA010 施工内訳0-0024号表
諸雑費	1	式			#10
*** 合 計 ***	10	m 3			
*** 単位当り計 ***	1	m 3			
A=1 無し D=1 良好（舗装道）			B=6 6.0km超7.5km以下 E=1 II-2-⑨-8		

ダンプトラック運転費
4 t 積級

SA010

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0024号表

頁0-0038

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手（一般）	0.89	人			R1500
軽油	19.20	L			T0002
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	1.02	供用日			M1004
ダンプトラックタイヤ損耗費 4t積級 良好	1.02	供用日			MS004
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=2 4 t 積級 C=1 良好（舗装道） E=19.2 燃料消費量（L）			B=11 補正なし D=0.89 一般運転手（人） F=1.02 機械損料（供用日）		

殻運搬舗装版破碎

運搬距離6.5km超11.5km以下, DID無し

機械構成比:

労務構成比:

SQZ101

機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下)

材料構成比:

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0025号表

1

m3 当り

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む			ダンプトラック 10 t 積級 オンロード・ディーゼル タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む		M1011P
運転手 (一般)			運転手 (一般)		R1500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=3 舗装版破碎 C=1 無し E=1 全ての費用			B=3 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) D=46 6.5km超11.5km以下 F=1 II-2-25-1		

現場発生品及び支給品運搬
トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t
機械構成比：

SQZ207
DID無し 4.0km超6.0km以下
労務構成比：

施工内訳表

施工内訳0-0026号表

材料構成比： 市場単価構成比： 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック [クレーン装置付] 2 t 級 2 . 9 t 吊			トラック [クレーン装置付] 2 t 積 2 . 9 t		M1205P
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		R1400
特殊作業員			特殊作業員		R0100
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001

現場発生品及び支給品運搬
トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t
機械構成比：

SQZ207
DID無し 4.0km超6.0km以下
労務構成比：
材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0026号表

1
t 当り
標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=1 C=6 トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t 4.0km超6.0km以下			B=1 D=1 無し I-2-③-3		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料	1.00	m3			
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=3 C= コンクリート塊（無筋） 受入料金（円／単位）			B=1 m3当り		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料	1.00	m3			
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=1 アスファルト塊（掘削） C= 受入料金（円／単位）			B=1 m3当り		

極小規模鉄筋探索工

V0008

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0029号表

頁0-0045

橋梁架設工事の積算 P4-68

1.08 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（A）	0.5	人			RA625 1
技師（B）	1	人			RA630 1
技師（C）	1	人			RA635 1
諸雑費	5	%			#01 労務費計
*** 合 計 ***	1.08	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			

入力データ一覧表

頁0-0046

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 件 名 称
X1000	＊＊本工事費＊＊			
Y1ZZ6	橋梁修繕工 レベル1			
Y2R07	橋面防水工 レベル2			
V0001	塗膜系防水層 HQペーブレン防水 人力	446 m ²		
V0002	舗装工 HQペーブレン舗装	446 m ²		
T0043	水抜管 塩ビ管 (V P 4 0)	4 m		
F0007	キャップ φ40 溶融亜鉛メッキ	12 箇所		
SQ361	コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン) アンカー材径 43mmを超え54mm以下	2 孔		A=5, B=1, D=1, E=1 A=アンカー材径 43mmを超え54mm以下, B=削孔深 500mm以下, D=全ての費用, E=IV-3-⑬-3
F0008	ポリブタジエン系接着剤 γ=1.3kg/L	1 kg		
Y2740	排水装置改修工 レベル2			
V0003	排水桝 鋼桁用Aタイプ	6 個		
V0004	排水桝 鋼桁用Bタイプ	6 個		
SQZ413	コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機) 削孔径110mm以上128mm未満	12 孔		A=6, B=6, C=1 A=110mm以上128mm未満, B=200mm以上400mm以下, C=Ⅱ-2-⑮-4
V0005	排水管撤去工 鋼管 従来型	5.7 m		
V0006	極小規模無収縮モルタル工 0.035m ³ ポリマーセメントモルタル	0.035 m ³		
Y2124	舗装改修工 レベル2			
SQZ184	アスファルト舗装版破碎 舗装版厚15cm以下, 障害等無し	312 m ²		A=1, B=1, C=1, D=1, F=1, G=1, H=1 A=アスファルト舗装版, B=無し, C=不要, D=15cm以下, F=有り, G=全ての費用

入力データ一覧表

頁0-0047

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
				, H=IV-3-②-2
SQZ184	アスファルト舗装版破碎 舗装版厚4cmを超え10cm以下, 障害等有り	135 m ²		A=1, B=2, D=5, F=1, G=1, H=1 A=アスファルト舗装版, B=有り, D=4cmを超え10cm以下, F=有り, G=全ての費用, H=IV-3-②-2
SQ155	表層(車道・路肩部)W=3.0m超 t=42mm, 密粒度ギャップAs(改質I型)	446 m ²		A=1, B=3, C=42, D=4, E=6, G=1, H=1, I=2, J=1, K=1, L=1 A=車道・路肩部, B=表層, C=平均厚さ [単位: mm], D=W=3.0m超, E=密粒度ギャップAs(改質I型), G=締固め後密度 2.35 t/m ³ (標準), H=タックコート PK-4, I=As合材 100 t未満/工事, J=通常時間帯, K=全ての費用, L=IV-1-②-2, 8
S7004	リブ式高視認性区画線(溶融式)設置工 線色: 白色	110 m		A=1, B=1, C=1, D=1, E=1, F=1 A=白色, B=施工幅 1 5 cm, C=供用区間, D=昼間単価, E=無し, F=VI-1-②-1
S7001	区画線(溶融式)設置工(手動) 線色: 白色	28 m		A=2, B=1, C=1, D=1, E=1, F=1, G=1, H=1, I=1 A=破線, B=白色, C=施工幅 1 5 cm, D=塗布厚 1 . 5 mm, E=供用区間, F=排水性舗装でない場合, G=昼間単価, H=無し, I=VI-1-①-1
S7001	区画線(溶融式)設置工(手動) 線色: 白色	3 m		A=1, B=1, C=4, D=1, E=1, F=1, G=1, H=1, I=1 A=実線, B=白色, C=施工幅 4 5 cm, D=塗布厚 1 . 5 mm, E=供用区間, F=排水性舗装でない場合, G=昼間単価, H=無し, I=VI-1-①-1
S7001	区画線(溶融式)設置工(手動) 線色: 白色	33 m		A=4, B=1, C=5, D=1, E=1, F=1, G=1, H=1, I=1 A=矢印・記号・文字, B=白色, C=施工幅 1 5 cm換算, D=塗布厚 1 . 5 mm, E=供用区間, F=排水性舗装でない場合, G=昼間単価, H=無し, I=VI-1-①-1
S8532	薄層カラー舗装工 樹脂系すべり止め舗装工 RPN-501	77 m ²		A=20, B=9, C=1, D=1, F=1, G=1, H=1, I=1 A=樹脂系すべり止め舗装工 RPN-501, B=樹脂系すべり止め舗装 1 00m ² 未満, C=時間的制約を受けない場合, D=夜間作業をしない, F=新設アスファルト舗装, G=トップコート有り, H=1.0m超え, I=VI-2-⑦-1
Y2G19	防護柵取替工 レベル2			

入力データ一覧表

頁0-0048

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
V0007	小規模ビーム取替工	4 m		
F0011	レール φ76.3×2.8t×1995	1 本		
F0012	レール φ76.3×2.8t×1885	1 本		
F0013	スリーブ φ650×4.5t×300 通常部	1 個		
F0014	スリーブ φ650×4.5t×300 伸縮部	1 個		
F0015	取付ボルト M12×100 SUS	2 個		
F0016	伸縮スリーブ取付ボルト M10×50	2 個		
Y2138	仮設工 レベル2			
S2580	交通誘導警備員B 配置人数（交代要員除く）：3人	19 日		A=2, B=3, C=0, D=1 A=交通誘導警備員B, B=配置人数（交替要員除く）[人／日], C=交替 要員[人／日], D=Ⅱ-5-21-1
Y2154	雑工 レベル2			
S3383	コンクリート殻積込・運搬（断面修復工） 運搬距離6.0km超7.5km以下	0.03 m3		A=1, B=6, D=1, E=1 A=無し, B=6.0km超7.5km以下, D=良好（舗装道）, E=Ⅱ-2-⑨-8
SQZ101	殻運搬舗装版破碎 運搬距離6.5km超11.5km以下, DID無し	37 m3		A=3, B=3, C=1, D=46, E=1, F=1 A=舗装版破碎, B=機械積込（騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下）, C=無 し, D=6.5km超11.5km以下, E=全ての費用, F=Ⅱ-2-25-1
SQZ207	現場発生品及び支給品運搬 トラック（クレーン付）2t級、吊能力2.9t	0.08 t		A=1, B=1, C=6, D=1 A=トラック（クレーン付）2t級、吊能力2.9t, B=無し, C=4.0km超6.0km以下, D=Ⅰ -2-③-3
#0042	*処分費（直工内）*			
S9910	産業廃棄物受入料 コンクリート塊（無筋）	0.03 m3		A=3, B=1, C= A=コンクリート塊（無筋）, B=m3当り, C=受入料金（円／単位）

入力データ一覧表

頁0-0049

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
S9910	産業廃棄物受入料 アスファルト塊（掘削）	37 m3		A=1, B=1, C= A=アスファルト塊（掘削）, B=m3当り, C=受入料金（円／単位）
#0046	共通仮設費、現場管理費、一般管理費対象外			
F0017	スクラップ ヘビーH2	0.08 t		
G0000	＊＊直接工事費＊＊			
Z0006	技術管理費			
V0008	極小規模鉄筋探査工	式 1 m ²		
Z0010	現場環境改善費	式		
Z0050	共通仮設費（率分）	式		
G1000	＊＊共通仮設費計＊＊			
G2000	＊＊純工事費＊＊			
Z0020	現場管理費			
G2900	＊＊現場管理費計＊＊	式		
G4000	＊＊工事原価＊＊			
Z0030	一般管理費			
Z0031	契約保証費	式		
G4100	＊＊一般管理費等計＊＊	式		
G4800	＊＊工事価格＊＊			
Z0038	消費税相当額			
		式		

入力データ一覧表

頁0-0050

[illegible]

登録単価一覧表

頁0-0051

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価 (0. 4. 8)	単価 (1. 5. 9)	単価 (2. 6)	単価 (3. 7)	特殊集計 集計区分
F0001	ペーブレンプライマー 18L/缶 0.25L/m ² 100m ² ×0.25L×1.05	L	2,180				
F0002	防水材 ペーブレncyート 25kg/箱 2.0kg/m ² 100m ² ×2.0kg×1.05	kg	2,220				
F0003	4号珪砂 25kg/袋 0.7kg/m ² 100m ² ×0.7kg×1.05	kg	100				
F0004	レベリング混合物FB5（橋梁用） t=4cm ペーブレncyアルト 100m ² ×2.35×0.04m×1.07	t	55,600				
F0005	アスファルト舗装用成形目地材 ピタツとL型止水テープ 高25mm×幅75mm×厚3mm	m	930				
F0006	導水管 クーレーⅡ型 φ18mm 溶融亜鉛メッキ 162.81m/446.17m ² ×100m ²	m	1,000				
F0007	キャップ φ40 溶融亜鉛メッキ	箇所	4,800				
F0008	ポリブタジエン系接着剤 γ=1.3kg/L	kg	6,000				
F0009	橋梁用排水桝 鋼桁用Aタイプ 首下265 FC250本体 13.6kg/個 グレーチング含む	個	80,100				
F0010	橋梁用排水桝 鋼桁用Bタイプ 首下265 FC250本体 13.6kg/個 グレーチング含む	個	79,500				
F0011	レール φ76.3×2.8t×1995	本	61,800				
F0012	レール φ76.3×2.8t×1885	本	58,200				

登録単価一覧表

頁0-0052

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価 (0. 4. 8)	単価 (1. 5. 9)	単価 (2. 6)	単価 (3. 7)	特殊集計 集計区分
F0013	スリーブ φ 650×4. 5t×300 通常部	個	11, 000				
F0014	スリーブ φ 650×4. 5t×300 伸縮部	個	13, 100				
F0015	取付ボルト M12×100 SUS	個	1, 700				
F0016	伸縮スリーブ取付ボルト M10×50	個	246				
F0017	スクラップ ヘビーH2	t	-43, 500				

機 材 集 計 表

頁0-0053

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M1004	191		0.0021	時間	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	運搬・荷役機械等
2	M1011P	191		2.9600	供用日	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	運搬・荷役機械等
3	M1205P	191		0.0040	供用日	トラック [クレーン装置付]	運搬・荷役機械等
4	M2800P	192		1.8000	供用日	コンクリート穿孔機[電動式コアローリングマシン]	基礎工事用機械・穿孔機械等
5	M2807P	192		17.5500	供用日	さく岩機 [コンクリートブレーカ]	基礎工事用機械・穿孔機械等
6	MA609	193		7.2118	時間	アスファルトフィニッシャ [クローラ型]	路盤用・舗装用機械等
7	MA708	193		7.3590	時間	タイヤローラ [普通型]	路盤用・舗装用機械等
8	MB610	193		7.3590	時間	ロードローラ [マカダム]	路盤用・舗装用機械等
9	MS004	191		0.0021	供用日	ダンプトラックタイヤ損耗費	運搬・荷役機械等
10	R0100	202		21.7026	人	特殊作業員	労務単価
11	R0200	202		31.7743	人	普通作業員	労務単価
12	R1400	202		4.8646	人	運転手 (特殊)	労務単価
13	R1500	202		2.2218	人	運転手 (一般)	労務単価
14	R2500	202		6.2548	人	土木一般世話役	労務単価
15	R2580	202		57.0000	人	交通誘導警備員 B	労務単価
16	R3800	202		5.3520	人	防水工	労務単価
17	RA625	388		0.4630	人	技師 (A)	設計業務基準日額 ※外業
18	RA630	388		0.9259	人	技師 (B)	設計業務基準日額 ※外業
19	RA635	388		0.9259	人	技師 (C)	設計業務基準日額 ※外業
20	T0001	221		14.7080	L	ガソリン	3-1 燃料類
21	T0002	221		523.2417	L	軽油	3-1 燃料類
22	T0043	274		4.0000	m	水抜管	11-1 諸材料
23	T0120	262		0.1640	個	ダイヤモンドビット (コンクリート削孔用)	9-4 ビット・ロッド
24	T0124	262		0.9600	個	ダイヤモンドビット (コンクリート削孔用)	9-4 ビット・ロッド
25	T0303	382		9.4500	日	空気圧縮機賃料	建設機械賃料
26	T0342	382		1.5600	日	発動発電機賃料	建設機械賃料
27	T0413	382		0.4460	日	タイヤローラ賃料	建設機械賃料
28	T0415	382		0.4460	日	ロードローラ賃料	建設機械賃料
29	T0477	382		0.4460	日	アスファルトフィニッシャ賃料	建設機械賃料
30	T0478	382		0.0000	日	バックホウ賃料(後方超小旋回)	建設機械賃料
31	T0815	274		0.0413	m3	ポリマーセメントモルタル	11-1 諸材料
32	T7003	217		47.2760	t	アスファルト混合物 (新材)	2-1 アスコン合材
33	T7022	218		0.0000	t	アスファルト乳剤	2-2 アスファルト乳剤等
34	T7104	060		39.8700	kg	路面標示用塗料	塗料・道路区画線等
35	T7110	060		1.7500	kg	接着用プライマー	塗料・道路区画線等
36	T7111	060		1.7500	kg	ガラスビーズ	塗料・道路区画線等

機 労 材 集 計 表

頁0-0054

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
37	T7120	060		110.0000	m	リブ式高視認性区画線(溶融式)[材料]	塗料・道路区画線等
38	TA520	341		77.0000	m ²	樹脂系すべり止め舗装工	市場単価 (22) 薄層カラー舗装工
39	TB031	400		3.0000	m	溶融式区画線 (実線) [手間]	土木工事標準単価 (1) 区画線工
40	TB041	400		28.0000	m	溶融式区画線 (破線) [手間]	土木工事標準単価 (1) 区画線工
41	TB121	400		33.0000	m	溶融式区画線 (矢印・記号・文字) [手間]	土木工事標準単価 (1) 区画線工
42	TB231	401		110.0000	m	リブ式高視認性区画線(溶融式)[手間]	土木工事標準単価 (2) 高視認性区画線工

数量及び延長調書

令和8年度 道路メンテナンス事業 港橋修繕工事(1工区)

費 目	工 種	備 考	管理 数値	積算 数量	単位	備 考
橋面防水工						
	塗膜系防水層	HQペーブレン防水	446.1	446	m2	図面及び 数量計算書より
	舗装工	HQペーブレン舗装	446.1	446	m2	〃
	硬質塩ビ管	JIS K 6741、VP-40	3.6	4	m	〃
	ギャップ	Φ40、溶融亜鉛メッキ	12	12	箇所	〃
	コンクリート削孔	アンカー材径43mmを超え54mm以下、削孔深500mm以下	2	2	孔	〃
	ポリブタジエン系 接着剤	γ=1.3kg/L	1	1	kg	
排水装置改修工						
	排水樹	橋梁用排水樹 鋼桁用Aタイプ	6	6	個	図面及び 数量計算書より
	排水樹	橋梁用排水樹 鋼桁用Bタイプ	6	6	個	〃
	コンクリート削孔	アンカー材径110mmを超え128mm以下、削孔深200mm以上400	12	12	孔	〃
	排水管撤去工	鋼管、従来型	5.7	5.7	m	〃
	極小規模無収縮 モルタル工	ポリマーセメントモルタル	0.035	0.035	m3	〃
舗装改修工						
	アスファルト 舗装版破碎	舗装版厚15cm以下、障害等無し、振動騒音対策不要	312.0	312	m2	図面及び 数量計算書より
	アスファルト 舗装版破碎	舗装版厚4cmを超え10cm以下、障害等有り	134.9	135	m2	〃
	表層	t=42mm、密粒度ギャップAs(改質Ⅰ型)、 密度2.35t/m3、タックコートPK-4	446.1	446	m2	〃
	リブ式高視認性 区画線設置工	溶融式、白色、実線、施工幅15cm	112.4	110	m	〃
	区画線設置工	溶融式、白色、破線、施工幅15cm	28.1	28	m	〃
	区画線設置工	溶融式、白色、実線、施工幅45cm	2.8	3	m	〃
	区画線設置工	溶融式、白色、矢印・文字・記号、施工幅15cm換算	33.0	33	m	〃
	薄層カラー 舗装工	樹脂系すべり止め舗装工RPN-501	77.3	77	m2	〃
防護柵取替工						
	小規模 ビーム取替工		4	4	m	図面及び 数量計算書より
	レール		1	1	本	〃
	レール		1	1	本	〃
	スリーブ		1	1	個	〃
	スリーブ		1	1	個	〃
	取付ボルト		2	2	個	〃
	伸縮スリーブ 取付ボルト		2	2	個	〃
仮設工						
	交通誘導員	交通誘導員B 配置人数3人	19	19	日	交通誘導員算定表より

数量及び延長調書

令和8年度 道路メンテナンス事業 港橋修繕工事(1工区)

費 目	工 種	備 考	管理 数値	積算 数量	単位	備 考
雑工						
	殻運搬	無筋コンクリート殻、運搬距離L=7.0km 0.0007+0.0294=	0.03	0.03	m3	図面及び 数量計算書より
	殻運搬	アスファルト殻、運搬距離L=9.7km トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t	36.6	37	m3	〃
	現場発生品運搬	運搬距離L=5.4km	0.080	0.08	t	〃
	産業廃棄物 受入料	無筋コンクリート 0.0007+0.0294=	0.03	0.03	m3	〃
	産業廃棄物 受入料	アスファルト	36.6	37	m3	〃
	スクラップ	ヘビーH2	0.080	0.08	t	〃
技術管理費						
	極小規模 鉄筋探査工	0.09m2/箇所×12箇所=	1.08	1	m2	図面及び 数量計算書より

1. 数量総括表

(1 橋当り)

工 種		仕 様		単位	数 量				摘 要
					橋面	桁下面	下部工	合計	
補修工	橋面防水工	塗膜系防水層		m ²	446.1			446.1	
		ペーブレン用アスファルト混合物, t=40mm		m ²	446.1			446.1	基層
		防水用排水管 φ18		m	162.8			162.8	溶融亜鉛メッキ
		排水パイプ VP40, N=12本		m	3.6			3.6	L=0.30m/本
		キャップ		箇所	12			12	溶融亜鉛メッキ
		削孔		孔	2			2	φ50×200/箇所
		端部目地材(橋梁端部用)		m	112.4			112.4	参考数量
	排水装置 改修工	排水桧 (SUS304)	タイプA	個	6			6	
			タイプB	個	6			6	
		排水管φ125 (SUS304)	タイプA	本	2			2	L=1758mm
			タイプB	本	4			4	L=2229mm
			タイプC	本	2			2	L=1490mm
			タイプD	本	4			4	L=1936mm
		グレーチング(SS400), 245×245×25		枚	12			12	溶融亜鉛メッキ
		取付金具 (SUS304)	タイプK1	箇所	2			2	W=13.08kg/箇所
			タイプK2	箇所	4			4	W=12.20kg/箇所
			タイプT1	箇所	2			2	W=6.46kg/箇所
			タイプT2	箇所	4			4	W=5.99kg/箇所
		削孔		孔	12			12	φ125×200/箇所
		鉄筋探査		箇所	12			12	0.09m ² /箇所
		既設排水管撤去 φ120(鋼管)		m	5.7			5.7	
				kg	80.9			80.9	
		床版復旧(断面修復工) ポリマーセメントモルタル		m ³	0.035			0.035	
	舗装改修工	舗装撤去工	As舗装版破碎工	m ²	312.0			312.0	
			人力はつり工	m ²	134.9			134.9	
			舗装体積	m ³	36.6			36.6	アスファルト舗装
		廃材処分・運搬工		t	86.1			86.1	
		舗装復旧	密粒度ギャップ As(13), t=42mm	m ²	446.1			446.1	表層
		路面表示	外側線	m	112.4			112.4	実線 15cm
			中央線	m	28.1			28.1	破線 15cm
			停止線	m	2.8			2.8	実線 45cm
			記号	m	33.0			33.0	15cm換算
		薄層カラー舗装工		m ²	77.3			77.3	
防護柵取替工	ビーム取替	レール	Φ76.3×2.8t×1995	本	1			1	
		レール	Φ76.3×2.8t×1885	本	1			1	
		スリーブ	Φ650×4.5t×300	個	1			1	通常部
		スリーブ	Φ650×4.5t×300	個	1			1	伸縮部
		取付ボルト	M12×100	個	2			2	SUS
		伸縮スリーブ 取付ボルト	M10×50	個	2			2	

(2) 橋面補修工

1. 橋面防水工 図面参照

(1) 防水面積

1) 塗膜系防水層

	施工幅	施工延長	控除面積	面積 [m²]
A1-P1'	7.950	21.426	-0.281	170.055
P1'-P2'	7.950	13.376	-0.281	106.058
P2'-A2	7.950	21.426	-0.281	170.055
合計	-	-	-	446.168

※控除面積

排水桝設置面積 $A = 0.265 \times 0.265 = 0.0702$ [m²/箇所]

2) ペーブレン用アスファルト混合物(As舗装[基層])

t = 40 mm

	施工幅	施工延長	控除面積	面積 [m²]
A1-P1'	7.950	21.426	-0.281	170.055
P1'-P2'	7.950	13.376	-0.281	106.058
P2'-A2	7.950	21.426	-0.281	170.055
合計	-	-	-	446.168

※控除面積

排水桝設置面積 $A = 0.265 \times 0.265 = 0.0702$ [m²/箇所]

(2) 防水用排水管 (φ18 溶融亜鉛メッキ)

		本数	延長	総延長	備考 [m]
A1-P1'	L1	1	22.170	22.170	縦断用
	L2	1	20.790	20.790	縦断用
	L3	2	8.354	16.708	横断用
P1'-P2'	L4	1	14.030	14.030	縦断用
	L5	1	12.740	12.740	縦断用
	L6	2	8.354	16.708	横断用
P2'-A2	L7	1	22.170	22.170	縦断用
	L8	1	20.790	20.790	縦断用
	L9	2	8.354	16.708	横断用
小計		6	-	112.690	縦断用
		6	-	50.124	横断用
合計		12	-	162.814	

(3) 排水パイプ (VP40)

	本数	延長	総延長	備考 [m]
A1-P1'	4	0.300	1.200	直管
P1'-P2'	4	0.300	1.200	
P2'-A2	4	0.300	1.200	
合計	12	-	3.600	

(4) キャップ (溶融亜鉛メッキ)

	箇所数
A1-P1'	4
P1'-P2'	4
P2'-A2	4
合計	12

(5) 削孔 ($\phi 50 \times 200$)

	箇所数
A1-P1'	0
P1'-P2'	2
P2'-A2	0
合計	2

※現況排水孔を再利用するものとする。

※コンクリート殻

$$0.050^2 \times 1/4 \times \pi \times 0.200 \times 2 = 0.0007 \text{ m}^3$$

【参考数量】

端部目地材(橋梁端部用)

[m]

	箇所数	延長	総延長
A1-P1'	2	21.426	42.852
P1'-P2'	2	13.376	26.752
P2'-A2	2	21.426	42.852
合計	6	-	112.456

2. 排水装置改修工 図面参照

(1) 排水柵

SUS304

[個]

	A1-P1	P1-P2	P2-A2	小計	適用
タイプA	2	2	2	6	上流側
タイプB	2	2	2	6	下流側
合計	4	4	4	12	

タイプA 265×265×41-φ122×300(中心配置)

タイプB 265×265×41-φ122×300(偏心配置)

(2) 排水管

SUS304

[本]

	A1-P1	P1-P2	P2-A2	小計	適用
タイプA	1		1	2	上流側標準部
タイプB	1	2	1	4	上流側支点部
タイプC	1		1	2	下流側標準部
タイプD	1	2	1	4	下流側支点部
合計	4	4	4	12	

タイプA L=1758mm

タイプB L=2220mm

タイプC L=1490mm

タイプD L=1936mm

(3) グレーチング

SS400, 溶融亜鉛メッキ

245×245×25

N = 12 [枚]

(4) 取付金具

SUS304

[箇所]

	A1-P1	P1-P2	P2-A2	小計	適用
タイプK1	1		1	2	上流側標準部
タイプK2	1	2	1	4	上流側支点部
タイプT1	1		1	2	下流側標準部
タイプT2	1	2	1	4	下流側支点部
合計	4	4	4	12	

タイプK1 W=13.08kg/箇所

タイプK2 W=12.20kg/箇所

タイプT1 W=6.46kg/箇所

タイプT2 W=5.99kg/箇所

(5) 削孔 (排水桝設置箇所)

φ 125×200

[箇所]

	A1-P1	P1-P2	P2-A2	小計	適用
タイプA	2	2	2	6	上流側
タイプB	2	2	2	6	下流側
合計	4	4	4	12	

※現況排水孔の利用が可能な箇所は、再利用することとする。

※コンクリート殻

$$0.125^2 \times 1/4 \times \pi \times 0.200 \times 12 = 0.0294 \text{ m}^3$$

(6) 鉄筋探査

A=0.30×0.30=0.09m²/箇所(削孔箇所と同一数量)

[箇所]

	A1-P1	P1-P2	P2-A2	小計	適用
タイプA	2	2	2	6	上流側
タイプB	2	2	2	6	下流側
合計	4	4	4	12	

(7) 既設排水管撤去工

φ 120(鋼管)

$$\begin{aligned} L &= 0.300 \times 19 \quad [\text{箇所}] \\ &= 5.700 \quad [\text{m}] \\ W &= 5.700 \times 14.20 \quad [\text{kg/m}] \\ &= 80.940 \quad [\text{kg}] \end{aligned}$$

(8) 床版復旧工

断面修復工(ポリマーセメントモルタル)

$$\begin{aligned} L &= 0.163 \times 19 \\ &= 3.097 \quad [\text{m}] \\ W &= 0.120^2 \times 1/4 \times \pi \times 3.097 \\ &= 0.035 \quad [\text{m}^3] \end{aligned}$$

3. 舗装改修工

図面参照

(1) 舗装撤去工

1) アスファルト舗装版破碎工

[m²]

	施工幅	施工延長	面積
A1-P1'	5.550	21.426	118.914
P1'-P2'	5.550	13.376	74.236
P2'-A2	5.550	21.426	118.914
合計	-	-	312.064

2) 人力はつり工

[m²]

	施工幅	施工延長	面積
A1-P1'	2.400	21.426	51.422
P1'-P2'	2.400	13.376	32.102
P2'-A2	2.400	21.426	51.422
合計	-	-	134.946

3) 取壊し舗装体積

アスファルト舗装

平均舗装厚 82 mm

$$t = \{ (57 + 100) / 2 \times 3975 + \{ (100 + 72) / 2 \times 3975 \} / 7950$$

$$= 82 \text{ [mm]}$$

	撤去面積[m ²]		平均舗装厚 [mm]	体積[m ³]
	As舗装版破碎工	人力はつり工		
A1-P1'	118.914	51.422	82	13.967
P1'-P2'	74.236	32.102	82	8.719
P2'-A2	118.914	51.422	82	13.967
合計	-	-	-	36.653

(2) 廃材処分・運搬工

[t]

	撤去体積	単位重量	撤去重量
A1-P1'	13.967	2.350	32.822
P1'-P2'	8.719	2.350	20.489
P2'-A2	13.967	2.350	32.822
合計	36.653	-	86.133

(3) 舗装復旧 (アスファルト舗装)

表層：密粒度ギャップAs(13) (t = 42 mm)

	施工幅	施工延長	控除面積	面積 ^[m²]
A1-P1'	7.950	21.426	-0.281	170.055
P1'-P2'	7.950	13.376	-0.281	106.058
P2'-A2	7.950	21.426	-0.281	170.055
合計	-	-	-	446.168

※控除面積

排水桝設置面積 $A = 0.265 \times 0.265 = 0.0702$ [m²/箇所]

※基層は「橋面防水工」にて計上

(4) 区画線工

1) 外側線

[m]

	施工延長	総延長
A1-P1'	21.426	42.852
P1'-P2'	13.376	26.752
P2'-A2	21.426	42.852
合計	-	112.456

2) 中央線

[m]

	施工延長	総延長
A1-P1'	21.426	10.713
P1'-P2'	13.376	6.688
P2'-A2	21.426	10.713
合計	-	28.114

3) 停止線

[m]

	施工延長	総延長
A1-P1'	2.850	2.850
P1'-P2'		0.000
P2'-A2		0.000
合計	-	2.850

4) 記号

[m]

	施工延長	総延長
A1-P1'		0.000
P1'-P2'	16.500	16.500
P2'-A2	16.500	16.500
合計	-	33.000

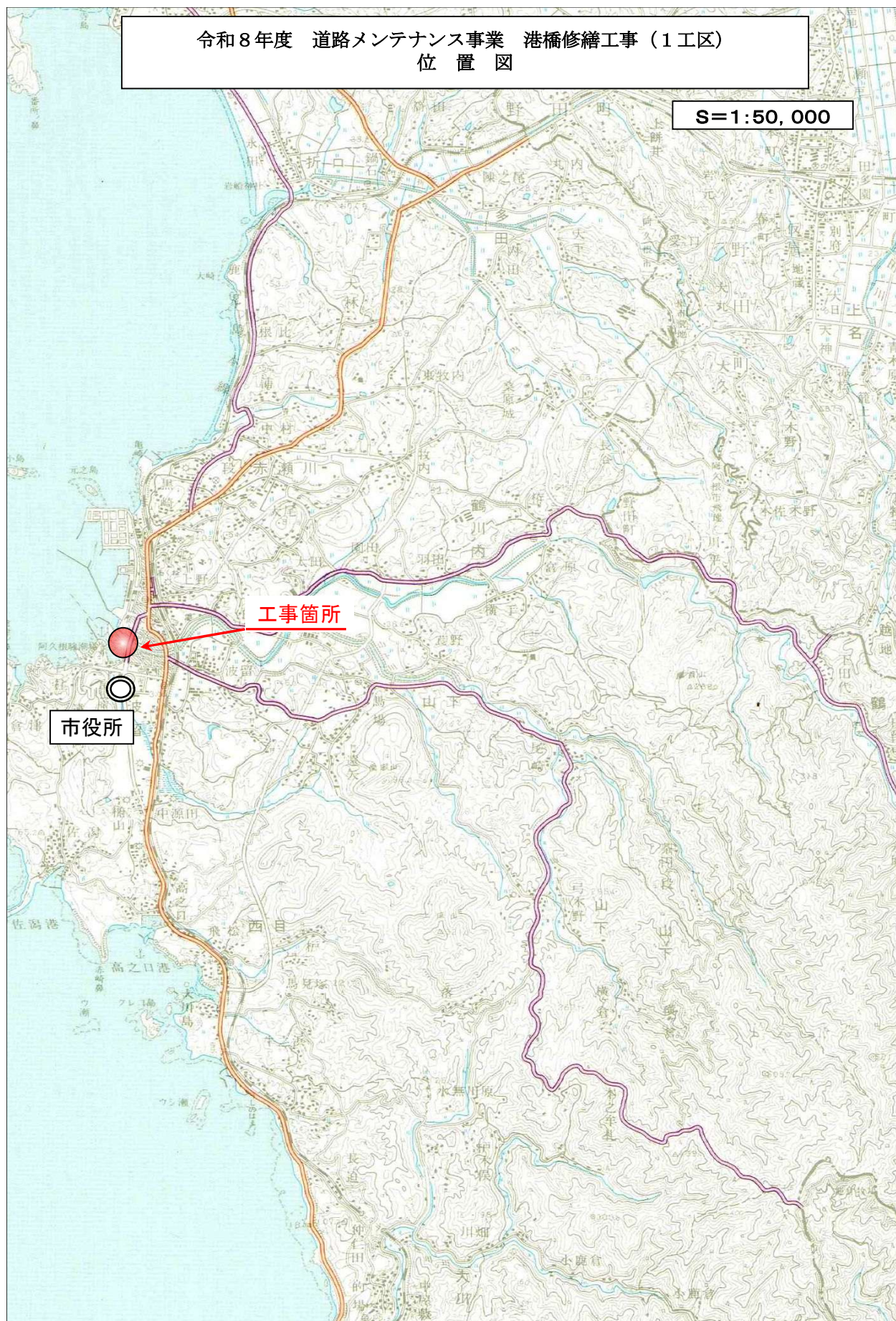
(5) 薄層カラー舗装工

[m2]

	施工幅	施工延長	面積
A1-P1'	1.375	21.426	29.460
P1'-P2'	1.375	13.376	18.392
P2'-A2	1.375	21.426	29.460
合計	-	-	77.312

令和8年度 道路メンテナンス事業 港橋修繕工事（1工区）
位置図

S=1:50,000



特記仕様書

(総則)

第1条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

- (1) 工事名：令和8年度 道路メンテナンス事業 港橋修繕工事（1工区）
- (2) 工事場所：阿久根市 港町 地内
- (3) 工期：令和9年3月25日まで

第2条 この工事は、契約図書及び図面によるほか、この特記仕様書並びに下記仕様書等その他諸法を遵守し施工しなければならない。

なお、本特記仕様書及び共通仕様書、要項、指針、示方書（最新版）に記載されていない事項で疑義が生じた場合は、別紙「工事打合簿」により監督職員（以下「甲」とする。）と協議し、かつその指示に従うこと。

- (1) 土木工事共通仕様書
- (2) 土木工事施工管理基準
- (3) 土木請負工事必携
- (4) 道路事業の手引き（鹿児島県土木部制定）
- (5) 建設副産物摘要処理推進要綱
- (6) 土木工事安全施工技術指針
- (7) その他関係要項、指針及び示方書等

第3条 この工事の契約数量は、設計図書のとおりとする。

なお、この数量に変更を生じた場合は、甲乙協議の上、契約変更の対象とする。ただし、出来形等に係る設計値は図面及び構造物調書のとおりとする。

第4条 契約の保証は、当初設計金額が500万円を超える場合、金銭的補償を要す。

(前払金)

第5条 保証事業会社の保証がなされている請負金額500万円以上のものについては、請負金額の10分の4以内で前払金を請求することができる。

なお、当初設計において前記の前払金を受けるものとして一般管理費の率を計上してあるが、前払金を受けない場合でも、一般管理費の率は変更の対象としない。

(工事カルテ作成・登録)

第6条 請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、実績情報システム（CORINS）に基づき、受注・変更及び完成

時に工事实績情報として「通知書」を作成し監督職員の確認を受けた上、受注時は契約後 10 日以内（土、日、祝日等が重なる場合はその前日まで）に、登録内容の変更時は変更があった日から 10 日以内（土、日、祝日等が重なる場合はその前日まで）に、完成時は工事完成後 10 日以内（土、日、祝日等が重なる場合はその前日まで）に（財）日本建設情報総合センターに登録しなければならない。

変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金 2500 万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。

登録完了後は、（財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

（技術者）

第 7 条 請負者は、測量・調査・施工管理及び検査のために専属して経験のある技術者を常に配置し、監督職員の指示に応じなければならない。

（監理技術者）

第 8 条 本工事で監理技術者を通知する場合は「監理技術者講習修了証」の写しを提出するものとする。対象者は平成 16 年 3 月 1 日以降に監理技術者資格者証を新規交付された者又は更新交付された者とする。なお、平成 16 年 2 月 29 日以前に監理技術者証を交付された者は対象外とする。

（監理技術者等の選任を要しない期間）

第 9 条 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、打合せ記録簿により明確となっていることを条件に、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定めること。

2 工事完成後、検査が終了し、事務手続及び後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日（「工事目的物引受書」等における日付）とする。

（配置技術者等の途中交代）

第 10 条 配置技術者の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病又は退職等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場合である。

- ・ 請負者の責によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合。

- 2 前1項の場合にあっても、請負者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。

(現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合)

第11条 現場代理人は現場に常駐し、その運営及び取締りを行うこととされているが、以下のいずれかの要件を満たす場合に、工事請負契約書第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」ものとして取扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や現場保全の義務(現場の巡回等)があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。

- (1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間。
- (2) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間。
- (3) 橋梁、ポンプ、ゲート又はエレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間。また、同一工場内でほかの同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の現場代理人が、これらの製作を一括して運営及び取締りを行うことができるものとする。
- (4) 前3号に掲げる期間のほか、請負者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続及び後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間。

2 発注者への報告

前1項の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐を不要とし、外の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合せ簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。

(現場代理人の兼任)

第12条 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次の(1)から(5)のすべてを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。

また、主たる工種が区画線工事の場合、次の(1)、(2)及び(6)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合は工事現場の兼任を認めるものとする。

なお、専任の主任(監理)技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、(2)、(4)、(5)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。

- (1) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4,500万円※未満であること。ただし、設計変更により、工事の請負金額が4,500万円※以上となり、各々の工事における主任（監理）技術者と現場代理人が異なる場合においては、受発注者協議の上、兼任することが出来る。
- (2) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡をとれること。
- (3) 兼任する工事の相互の移動は、概ね1時間以内であること。
- (4) 発注者又は監督員が求めた場合には工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。
- (5) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。
- (6) 兼任する現場代理人は、必ず担当する工事現場のいずれに常駐するとともに、それぞれの現場稼働日は重複しないこと。

※ 建築一式工事は、9,000万円

2 手続き

現場代理人の兼任を行う場合には、「兼任（変更）申請書」（別紙1）を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、「現場代理人等選任（変更）通知書」により、発注者に通知すること。

なお、それぞれの工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。

3 受注者に対する措置請求

安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置をとるべきことを請求するものとする。

（施工体制台帳の作成等）

第13条 本工事の請負者は、建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請け工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について作成し提出すること。

（施工体系図の作成等）

第14条 本工事の請負者は、工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の(1)から(4)の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事または業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度変更に関する事項について作成し提出すること。

- (1) 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務

- (2) 土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務
- (3) 工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務
- (4) その他監督職員が記載を指示した業務等

（工事の施工）

第 15 条 工事着手にあたっては、地元区長及び近隣住民への周知を徹底すること。

- 2 着工前測量を実施し、その結果を報告するとともに設計図書と相違があった場合は監督員と協議すること。

（国土調査の基準点等測量標識等の保全）

第 16 条 施工区域内に国土調査の基準点等測量標識等がある場合は、その取扱いについて監督員に指示を仰ぐとともに、施工前に設置者と協議すること。

（管内（県内）建設業者の優先使用）

第 17 条 請負業者は、工事の一部を下請に付する場合は、北薩地域振興局管内に主たる営業所を有するものを使用するよう努めることとする。

- 2 請負業者は、前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書等の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等付活用状況報告書」を監督職員に提出すること。
- 3 請負業者は、工事完成時及び監督員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督員に提出すること。

（県産資材の優先使用）

第 18 条 工事に使用する資材については、県内で産出、生産又は製造されたもの（以下「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。

- 2 請負業者「材料使用承認願」において、全ての資材について県産資材使用の湯無を記載するとともに、以下に記載する「指定主要資材」の中で県産資材を使用しない場合は、「県産資材等不使用状況報告書」を監督員に提出し、承諾を得なければならない。

指定主要資材 （ 7 品 目 ）	生コン（レディミクストコンクリート） コンクリート二次製品 石材類 アスファルト合材 木材 樹木 野芝
---------------------	--

- 3 前項で定めた不使用状況報告書において、第 1 項で定めた資材業者から調達しない場合は、その理由を記載すること。
- 4 請負業者は、工事完成時及び監督員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」を監督員に提出すること。

(現場発生品)

第 19 条 下記現場発生品については、監督職員に確認の上、搬入場所へ搬入又はスクラップを行うものとする。

資材名	規格	数量	搬入場所
鉄	へビーH2	0.08t	阿久根市折口地内 (株)小松商店

~~(支給品)~~

~~第 20 条 下記現場支給品については、監督職員に確認の上、保管場所から搬入場所へ搬入を行うものとする。~~

資材名	規格	数量	保管場所

(特定建設資材の分別解体等・再資源化等)

第 21 条 本工事は建設リサイクル法に規定されている特定建設資材及び特定建設資材廃棄物が含まれているので、適正な措置を講ずること。なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

(1) 分別解体等の方法 (参考)

工程ごとの作業内容・解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (※)
	仮設	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	土工	土工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	基礎	基礎工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	その他	その他の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

※ 「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

(2) 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離
無筋コンクリート	(株)ツカサ	阿久根市鶴川内	7.0km
鉄筋コンクリート			
アスファルト	(株)西園機動建設	出水市野田町下名	9.7km

※ 上記(2)については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

—(建設副産物の処理)—

第22条 ~~建設工事の施工により発生する指定副産物（コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設発生木材、汚泥（建設発生主は除く。）等。）のうち、処分の指定のない無筋コンクリート殻については、30 cm以下に小割し、盛土区間等で使用すること。その他については再資源化施設へ搬出すること。また、運搬に先立っては受入条件等を確認し、発注者に報告するものとする。なお、積算に際しては、前条第1項第2号に示す条件により積算している。~~

2 ~~受注者は、建設発生主、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。~~

3 ~~処分状況等の記録（再生資源利用促進実施書及びマニフェスト（E票）の写し及び産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表）を完成書類に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者から返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者から返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。~~

4 ~~工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。~~

5 ~~再生資材の利用~~

~~受注者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用すること。~~

資材名	規格	備考
再生加熱アスファルト混合物	再生密粒	
再生砕石	R C＝30	
再生砕石	R C＝40	

— ~~なお、使用に際し、「プラント再生舗装技術指針」等を遵守すること。~~

- ~~6 受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。さらに、利用状況等の記録を完成書類に含めて提出すること。~~
- ~~7 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。~~

(産業廃棄物税)

第 23 条 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

~~―(特別管理産業廃棄物の処理)―~~

~~第24条 特別管理産業廃棄物の処理(指定処分)―~~

- ~~1) 本工事の施工により発生する特別管理産業廃棄物は、下記により搬出すること。~~
- ~~(1) 運 搬 距 離 :―~~
- ~~(2) 運 搬 場 所 :―~~
- ~~2) 処分状況の記録を完成書類に含めて提出すること。~~
- ~~3) 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。~~

(過積載等の防止)

第 25 条 ダンプトラック等による過積載等の防止について以下のことを遵守すること。

- (1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
- (4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることがないようにすること。
- (4) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
- (7) 第 1 号から第 6 号のことにつき、下請契約における請負者を指導すること。

(交通誘導員)

第 26 条 本工事で配置する交通誘導員は、交通誘導警備業務に係る 1、2 級検定合格警備員、又は交通誘導に関して専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置すること。ただし、鹿児島県公安委員会が道路における危険を防止するため、交通誘導警備業務検定合格警備員の配置が必要と定めた路線において、交通誘導警備業務に従事する場合の交通誘導員は、交通誘導警備業務を行う場所ごとに 1 名以上は 1 級検定合格警備員又は 2 級検定合格警備員を配置すること。なお、同一規制箇所では、交通誘導警備業務に従事する者全員を同一警備会社の警備員とすること。また、請負者は上記のことを示す資料を監督職員に現地着手前に提出すること。

資格	資格条件
交通誘導警備業務に係る 1 級検定合格警備員 2 級検定合格警備員	改正警備業法（H17. 11. 21 施工）における検定合格者
交通誘導に関し専門的な知識及び技術を有する警備員等	警備業法における基本教育及び業務別教育（警備法第二条第一項第二号の警備業務）を現に受けている者

(工事の施工)

第 27 条 本工事の施工にあたっての施工条件は図面や数量表を基にし、施工計画書の作成及び工事施工時において十分留意するものとする。なお、明示されている施工条件に変更が生じた場合は、契約変更の対象とする。また、工事実施期間中に派生した施工条件についても、甲乙協議の上契約変更の対象とする。

~~—(標準の機械経費（損料）が排出ガス対策型第 3 次基準値の建設機械の工種)—~~
第 28 条 ~~機械掘削におけるバックホウの機械経費（損料）の積算に関しては、第 3 次基準値により算出している。なお、受注者が第 2 次基準値以下の建設機械を使用し施工する場合は、使用する建設機械の機械経費（損料）に設計変更する。~~

~~—(床掘及び切土)—~~
第 29 条 ~~切土の法勾配は、設計図書に示した法勾配で仕上げるものとする。~~
~~2 監督職員の承認を受けず切りすぎた土量の増については変更契約の対象としない。~~

~~—(盛土及び埋戻)—~~
第 30 条 ~~盛土は常に型下がりの横断形を保ち、土羽工を先行してはならない。~~
~~2 盛土施工中は常に雨水等による土砂流出を起こさないよう排水処理を考慮し施工すること。~~
~~3 埋戻前に漏水等ある場合は、必ず排水した後に埋戻をしなければならない。~~

~~—(コンクリート工)—~~

~~第 31 条 コンクリートの品質は下記のとおりとする。~~

種別	基準強度	スランプ	最大粒径	使用箇所
高炉セメント B 種	18N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

~~第 32 条 レディミクストコンクリートの工場は原則として J I S マーク表示許可工場を選定する。~~

~~第 33 条 現場までの運搬時間、コンクリートの製造能力、運搬車数、工場の製造設備及び品質管理状態を考慮して選定し監督職員に報告すること。~~

~~第 34 条 レディミクストコンクリートを使用するときは使用に先立ち試験練りを行いその結果を報告しなければならない。なお第 31 条に示すもの以外のものを使用する場合は監督職員の承諾を得ること。~~

~~第 35 条 コンクリート構造物については打設計画を作成し 1 日毎の打設計画管理を行うこと。~~

~~—(セメントモルタル、コンクリート吹付工)—~~

~~第 36 条 請負者は、セメントモルタル等の吹付けにあたっては、吹付け厚さが均等になるよう施工しなければならない。~~

~~2 請負者は、吹付面が岩盤の場合には、ごみ、泥土及び浮石等の吹付材の付着に害となるものは除去しなければならない。吹付面が給水性の場合は、事前に給水させなければならない。また、吹付面が主砂の場合は、吹付厚により主砂が散乱しないように打ち固めなければならない。~~

~~3 請負者は、吹付の施工に影響を及ぼす湧水が発生した場合、又はその恐れのある場合には施工方法について事前に監督職員と協議しなければならない。~~

~~4 請負者は、補強用金網の設置にあたっては、設計図書に示す仕上がり面からの間隔を確保し、かつ吹付等により移動しないように法面に固定しなければならない。また、金網の継手の重ね巾は 10 cm 以上重ねなければならない。~~

~~5 請負者は、吹付けにあたっては法面に直角に吹付けるものとし、法面の上部から順次下部へ吹付け、はね返り材料の上に吹付けてはならない。~~

~~6 請負者は、1 日の作業の終了時及び休憩時には、吹付けの端部が次第に薄くなるように施工し、これに打継ぐ場合は、この部分のごみ、泥土等吹付材の付着に害となるものを除去し、清掃し、かつ湿らせてから吹付けなければならない。~~

- ~~7 請負者は、吹付仕上げ面及び吹付端部の施工に際しては、速度を遅くして仕上げなければならない。表面仕上げを行う場合には、吹付けた面とコンクリート又はセメントモルタル等が付着するように仕上げなければならない。~~
- ~~8 請負者は、吹付けに際しては、外の構造物を汚さないように、また、はね返り材料は速やかに取除いて不良箇所が生じないように施工しなければならない。~~
- ~~9 請負者は、吹付けを2層以上に分けて行う場合には、層間にはく離が生じないように施工しなければならない。~~
- ~~10 請負者は、吹付玉の伸縮目地、水抜き孔を設計図書によるほか監督職員の指示により施工しなければならない。~~
- ~~11 請負者は、法肩の吹付けにあたっては、地山に巻き込んで施工しなければならない。~~
- ~~12 請負者は、2 m²に1か所程度の割合で水抜きパイプ（VP50）を取付けなければならない。~~
- ~~13 コンクリート吹付玉の吹付モルタルの配合、モルタル吹付玉等の吹付モルタルの配合は以下のとおりとする。~~

	W/C	C:S:G	C:S

~~（舗装工）~~

~~第37条 表層工~~

~~—— 混合物敷均し後の締固めは振動ローラ又はタンパーで転圧しなければならない。~~

~~第38条 上層路盤工~~

~~—— 材料まき出し後の締固めは車道部を振動ローラ又はタンパーで転圧しなければならない。~~

~~第39条 その他~~

~~—— 舗装工は「アスファルト舗装工事共通仕様書」によるものとする。管理基準は「土木工事施工管理基準のアスファルト舗装（簡易舗装）」による。~~

~~（排水工）~~

~~第40条 排水工の基礎工は切込砕石（再生材40mm以下）の再生材を使用してタンパーにて十分転圧すること。~~

~~（環境保全型ブロック積）~~

~~第41条 環境保全型ブロック積の施工にあたっては、多自然型川づくりを念頭に現況を改変することなく良好な瀬淵環境を保全し、又は創出すること。~~

- ~~2 土工により河床を真っ平らに仕上げない。また、埋戻等により水際部を固めない。~~
- ~~3 水際には発生材により寄せ石及び寄せ土を行い、水生生物の住处づくりと植生回復を図ること。~~
- ~~4 周辺環境と調和したブロックを選定し、明度、彩度を抑えテクスチャーを持たせること。~~

(支障物件)

第 42 条 着工前測量により嵩上げ切下げ等が必要なマンホール等があった際は、調査を行い速やかに監督職員へ報告すること。

(工事縮減期間)

第 43 条 下記の期間（予定）は、「鹿児島県域の路上工事縮減に関する行動計画」により、緊急対応等やむを得ない工事及び一時的な通行規制解除が困難な工事を除き、原則として路上工事（既に供用中の道路上で行われる、道路管理者及び占用企業者が行う通行規制を伴う工事）を中止することとする。工事中止期間については、予定であるため、詳細な日程が決まり次第請負者に通知するものとする。

中止する行事等	中止開始（予定）	中止終了（予定）
ゴールデンウィーク	令和 8 年 4 月 29 日（水）	令和 8 年 5 月 6 日（水）
お盆	令和 8 年 8 月 8 日（土）	令和 8 年 8 月 16 日（日）
年末年始	令和 8 年 12 月 29 日（火）	令和 9 年 1 月 3 日（日）

(安全管理)

第 44 条 工事施設の安全を確保するため「土木工事安全施工技術指針」（全日本建設技術協会発行）によること。

第 45 条 労働安全衛生法、同法施行令及び同法施行規則を遵守すること。また、労働安全衛生規則「第二編第一二章土石流による危険の防止」の規定を遵守し施工計画書に明記すること。

第 46 条 道路法、道路交通法及び同法施工規則等を遵守し安全対策に努めること。

第 47 条 交通管理については道路標識板、バリケード、工事灯及び交通整理人の設置によって交通に与える影響を最小限にするよう作業計画、交通事故の絶無を期さなければならない。

- 2 看板は原則として、信号機の下に 1 か所、信号機より 30m 程度手前に 1 か所設置することとし、現場の状況等十分留意のうえ交通安全上必要な措置は講じること。

(書類提出)

第 48 条 下記に示すものは必ず現場代理人か現場監督員が持参のうえ提出するものとし、監督職員の承認を得ること。

(1) 工事契約 30 日以内

ア 請負工事契約約款第 4 条による横線式の工程表

イ 工事施工計画書

工事施工計画書については鹿児島県土木部制定「土木工事共通仕様書」「土木工事施工管理基準」に準じて作成し、必ず工事概要、工事内容、工事工程、現場組織、主要機械計画、主要材料、施工方法、測量計画管理、品質管理、出来高管理、写真管理、安全管理、仮設計画及び実施工程表を分かりやすく書きまとめるものとする。

(2) 生コンクリート打設前

生コンクリート使用承認及び配合報告書を提出する。

(3) アスファルト舗設前

アスファルト舗設前においては「基準密度承認願」にて承認を得ること。ただし、同時にマーシャル試験における「配合の承認」「使用骨材の承認」「瀝青材等の品質証明書」等を提出すること。

(4) 特記仕様書に指定していない二次製品の使用前

積ブロック、トラフ等特記仕様書に指定のない場合は必ず使用前に「材料使用の承認」と併せて「配合報告書」「品質証明書」を提出して承認を得ること。

(5) 工事の出来高報告書（工事月報）

毎月末日現在の出来高を作成して毎月 2 日までに提出すること。

(6) 完成検査前

ア 完成届

イ 提出書類

提出書類については写真整理、出来高管理及び品質管理を「土木工事施工管理基準」に従って順序良く製本しインデックス等を取付けること。特に写真整理については「土木工事施工管理基準」の写真管理基準によって撮影製本するものとする。

ウ 電子納品

本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「阿久根市電子納品ガイドライン（令和 4 年 1 月）」（以下「ガイドライン」という。）に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

【阿久根市ウェブサイト】

ホーム > 市政情報 > 施策・計画 > 土木・建築・交通 > 電子納品

ガイドラインに基づき作成した電子成果品は、電子媒体で正本・副本各 1 部の計 2 部提出する。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定する。

(7) 検査後

検査写真には検査時における写真の代表的なものを添付する。また、併せて検査における破壊確認の写真、補修完了の写真を対比して添付すること。

(安全管理活動の実施状況報告)

第 49 条 安全管理活動については、実施状況等を毎月工事月報と併せて 2 日までに報告すること。

- (1) 現場に則した安全・訓練等について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上の時間を割当て実施。
- (2) 災害防止（工事安全）協議会等を設置し、月当たり 1 回以上活動。
- (3) 店社パトロールを月当たり 1 回以上実施。
- (4) 安全巡視、TBM、KY等の実施。
- (5) 各種安全パトロールで指摘を受けた事項についての改善措置。

(熱中症対策に資する現場管理費の補正)

第 50 条 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行対象工事である。

2 試行にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について」に基づき行うものとする。

3 「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について」は、阿久根市ホームページから取得できる。

(暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置)

第 51 条 鹿児島県が発注する建設工事等（以下「県工事等」という。）において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。県工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

(工事等の施工にあたって要する物品等の調達)

第 52 条 資材、機械の購入や借入れ等をする場合は、可能な限り阿久根市内業者を優先して活用すること。

- 2 建設現場内における飲食のほか、現場事務所内で必要とされる事務用品等の購入は可能な限り市内業者から購入すること。

~~（仮設工）~~

~~第53条 本工事における仮設工は、吊足場を仮設物として設置してある。吊足場については、次（後期）工事においても継続して使用するので、当該工事の完了後引続き存置すること。~~

~~（工事等における遠隔臨場試行の推進にかかる運用）~~

~~第54条 本工事は、遠隔臨場の試行対象とする。~~

~~遠隔臨場の試行は、「鹿児島県の公共工事等における遠隔臨場試行要領」により、受発注者いずれの発議でも打合せ簿による協議のうえ適用できる。~~

~~—遠隔臨場は、受発注者の働き方改革に寄与するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にもつながることから試行を推進しており、現場立会のほか、日頃の工事打合せについても、積極的な遠隔臨場の取り組みに努めること。~~

~~—なお、遠隔臨場の取り組みを行った場合は、必要となる費用を以下の(1)から(4)により設計変更で計上することとする。~~

~~—(1) 遠隔臨場に必要な費用は、共通仮設費の技術管理費に積上げ計上することとし、全ての諸経費の対象としない。~~

~~—(2) 遠隔臨場に要する機器等はリースを基本とし、遠隔臨場を行う工事で機器を利用した期間の賃料を計上できる。~~

~~—(3) 遠隔臨場に要する機器を購入した場合や手持ちの機器とした場合は、国税庁ホームページの耐用年数表に基づき損料を計上する。~~

~~——※ 耐用年数例~~

~~——タブレット、カメラ、アプリケーションソフト等：5年~~

~~——Wi-Fi ルータ等通信機類：10年~~

~~—(4) 情報共有システム（ASP方式）のオプションとしてプロバイダが提供している遠隔臨場機能を利用する場合は、遠隔臨場機能（オプション契約分）を利用した期間の遠隔臨場機能利用料金を計上する。~~

（「週休2日」施行工事）

第55条 本工事は、「週休2日」試行工事（受注者希望型）の対象である。

2 試行に当たっては、『「週休2日」試行工事実施要領』に基づき行うものとする。

3 実施要領は、阿久根市ホームページから取得できる。

（工期）

第56条 本工事の工期は令和9年3月25日までを予定している。

1 本工事は繰越を予定しており、完了工期については、繰越承認が得られた場合に変更契約を行うものとする。

2 繰越承認後の完了工期は、210日間を予定している。

(工事現場の現場環境改善)

第 57 条 工事現場の現場環境改善は、周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施するものである。受注者はこの趣旨を理解し、発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事を実施すること。

2 現場環境改善については、別表－１の内容のうち、原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに１内容ずつ（いずれか１費目のみ２内容）の合計５つの内容を基本として実施すること。

3 現場環境改善においては、木製資材の積極的な使用に努めること。

4 現場環境改善の具体的な実施内容及び実施時期について、施工計画書へ記載し提出すること。

5 工事完了時には、現場環境改善の実施写真を提出すること。

6 工期設定に関しては、現場環境改善の準備に必要な期間を考慮すること。

〔別表－１〕

計上費目	実施する内容（率計上分）
仮設備 関係	１．用水・電力等の供給設備，２．緑化・花壇，３．ライトアップ施設 ４．見学路及び椅子の設置，５．昇降設備の充実，６．環境負荷の低減
営繕関係	１．現場事務所の快適化（女性更衣室の設置を含む） ２．労働宿舍の快適化，３．デザインボックス（交通誘導警備員待機室） ４．現場休憩所の快適化，５．健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	１．工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ２．盗難防止対策（警報機等）
地域連携	１．完成予想図，２．工法説明図，３．工事工程表 ４．デザイン工事看板（各工事ＰＲ看板含む） ５．見学会等の開催（イベント等の実施含む） ６．見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ７．パンフレット・工法説明ビデオ ８．地域対策費等（地域行事等の経費を含む），９．社会貢献

〔別表－２〕

現場環境改善実施内容に関する名称	損耗率
緑化・花壇，完成予想図，工法説明図，工事工程表 パンフレット・工法説明ビデオ	100%（箇所）
デザイン工事看板	10%（／月）
ライトアップ施設	8%（／月）
電光式標識	4%（／月）
備品類	2%（／月）

（注） 1 上表は工事場所，工事時期及び使用条件を考慮して割増しすることができる。

2 類似品は，上表損耗率を準用できる。

3 一工事において，損耗率が１００％を超える場合は，上限値は１００％とする。

4 設置月数は，工程から求めるものとし，０．５ヶ月単位（２捨３入）とする。

ただし，１５日未満は０．５ヶ月とする。

(快適トイレの設置)

第 58 条 本工事は、阿久根市の建設現場における「快適トイレ」設置の試行対象工事である。受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。快適トイレを設置する場合は、『阿久根市の建設現場における「快適トイレ」設置の試行要領』に基づき行うものとする。

なお、試行要領は阿久根市ホームページから取得できる。

(ヤンバルトサカヤスデのまん延防止)

第 59 条 ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入にあたっては、別添「ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について」を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの生息が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、生息状況等の調査を行い、監督職員に報告すること。

【別添】

ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について

1 土・樹木等の措置

- (1) 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。
- (2) 廃棄樹木等については、一般廃棄物及び産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設で焼却処理する。

一般廃棄物：市町村の所管する焼却施設、業の許可を有している民間の焼却施設

産業廃棄物：業の許可を有している民間の焼却施設（産業廃棄物税が発生します。）

2 工事区域周辺部の措置

周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。

3 やむを得ず、土及び樹木等を発生地区から搬出する場合の措置

- (1) 薬剤処理・燻蒸処理後に搬出する。
- (2) 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は、付着土壌の除去及び目視除去後搬出する。

4 発生地区に搬入した建設機材や農・林業耕作機械の措置

付着土壌の除去及び薬剤処理後搬出する。

5 未発生地区での措置

発生地区からの土及び樹木等の搬入や農・林業耕作機械の移動等があった場合は、上記1～3の措置が講じられているかを確認する。

※ 奄美群島以外でヤンバルトサカヤスデの発生が確認されている地区

H11：南九州市（旧穎娃町、旧知覧町）

H14：指宿市（旧山川町）、屋久島町（旧屋久町）

H15：鹿児島市（旧吉田町）、日置市（旧吹上町）、枕崎市

H16：鹿児島市

H17：指宿市

H22：出水市、南さつま市

H25：霧島市、阿久根市

H26：鹿屋市、姶良市

H29：長島町

R 3：西之表市、中種子町、錦江町

R 4：肝付町、薩摩川内市、いちき串木野市、南大隅町

R 6：大崎町

R 7：志布志市

材料使用承認願	
工 事 名	請 負 業 者 名
工 期	現 場 代 理 人
路 線 (河 川	総 括 監 督 員
工 事 箇 所 名	監 督 員

[illegible]

(別紙報告書)

安全・訓練等の実施状況報告書

工 事 名			請 負 者 名	
契 約 工 期	令和 年 月 日～令和 年 月 日(日間)			
実 施 日	所要時間	参加人数	実 施 内 容 等	

(注) 実施状況写真は別添のとおり。

工 事 打 合 簿

発 議 者	発注者	請負者	発 議 年 月 日	令和 年 月 日				
発 議 事 項	指示	協議	通知	承諾	提出	報告	☐ 届出	☐ その他（ ）
工 事 名				請 負 者 名				
(内 容)								
添付図 葉, その他添付図書								
処 理 ・ 回 答	発注者	上記について 指示 承諾 協議 通知 受理 します。 変更契約の対象となるので、別途変更指示書にて通知します。 緊急を要するものであるため、工事打合簿により指示します。 併せて、変更契約の対象となるので、別途変更指示書にて通知します。 その他（ ）						
	請負者	上記について 了解 協議 提出 報告 届出 します。 その他（ ）						
		監督職員	令和 年 月 日					
		現場代理人	令和 年 月 日					

総 括 監督員	監 督 員

現 場 代理人	主 技 術 任 者

令和 年 月 日

請負者
商号又は名称
代表者の氏名

下記工事について、現場代理人を兼任したいので（変更）申請します。
 なお、両工事の施工に当たっては、関係法令等を遵守し、安全管理及び工程管理に留意します。

①兼任する工事 (県土木部工事)	主 任 技 術 者		
	現 場 代 理 人		
	工 事 名		
	工 事 場 所		
	工 期		
	請負金額(税込み)		
	現場代理人不在の間の緊急連絡先	氏 名	
	連絡先		
②兼任する他の工事	主 任 技 術 者		
	現 場 代 理 人		
	工 事 名		
	工 事 場 所		
	工 期		
	請負金額(税込み)		
	発 注 機 関 名		
	監 督 員 氏 名		
	発注機関の連絡先		
③兼任する他の工事	主 任 技 術 者		
	現 場 代 理 人		
	工 事 名		
	工 事 場 所		
	工 期		
	請負金額(税込み)		
	発 注 機 関 名		
	監 督 員 氏 名		
	発注機関の連絡先		
工事現場の相互の 距離・移動時間	①-②	km	ㄥ
	①-③	km	ㄥ
	②-③	km	ㄥ

○添付書類：兼任する他の工事の当初契約書（写し）（※契約前の工事については後日提出）
○兼任する他の工事について、兼任の承認を受けていることがわかる書類の写しを後日提出すること

現場環境改善 実施（変更）計画書

工事名：令和〇〇年度〇〇〇〇〇〇工事（〇〇工区）

①率計上分

項目	現場環境改善費 を含んだ額 A	共通仮設費 計上額 B	差額 C	損耗率 D	数量 N	月数 M	金額
記入例							
購入品	A 100,000	B 60,000	A-B 40,000	D 50%	N 1	M 1	C+D+N×M 20,000
リース品	A 200,000	B 120,000	A-B 80,000	- -	N 1	M 1	C+N×M 80,000
小計							100,000
仮設備関係			0				0
小計							0
営繕関係			0				0
小計							0
安全関係			0				0
小計							0
地域連携			0				0
小計							0
合計							0

②積上げ計上分

項目							金額
その他 積上げ費用							
小計							0

③積上げ計上分（熱中症対策・防寒対策）

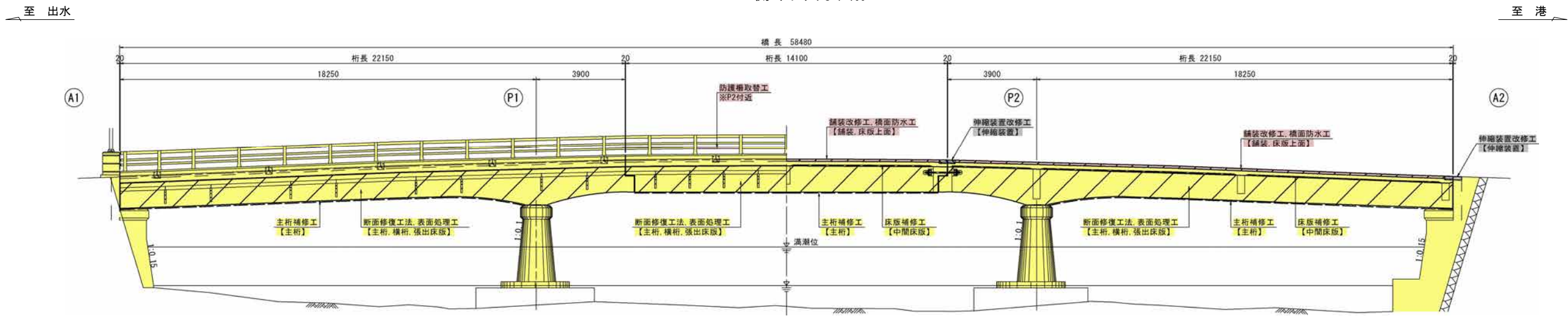
項目							金額
熱中症対策・防寒対策に関する費用							
小計							0
上限額 （現場環境改善費（率分）の50％）							
計上額							0

注：③積上げ計上（熱中症対策）を実施する場合は、別途発注者と協議すること。

合計	0
----	---

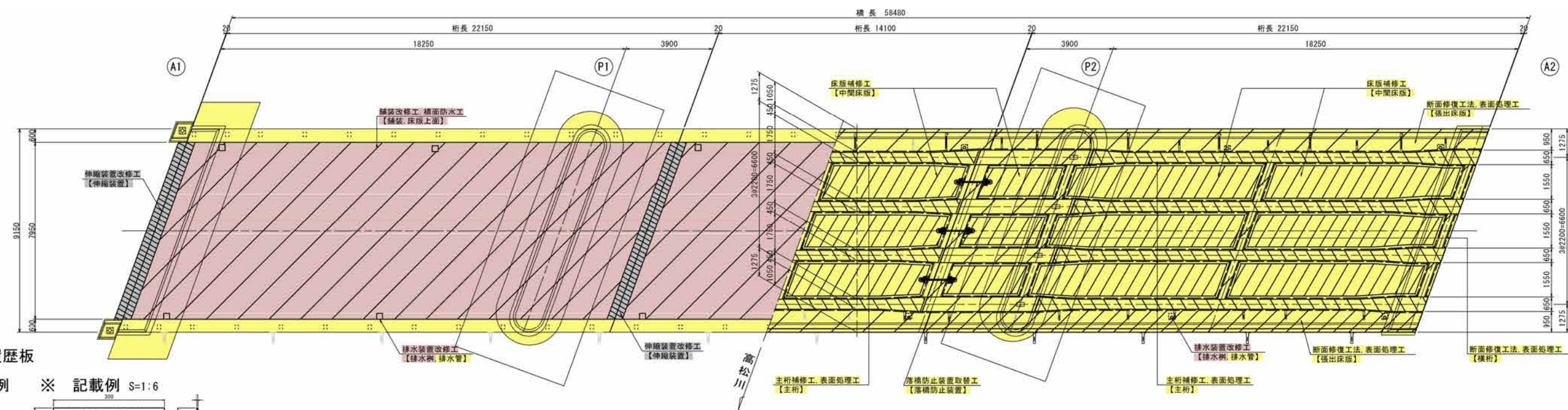
港橋 補修対策一般図

側面図 S=1:100



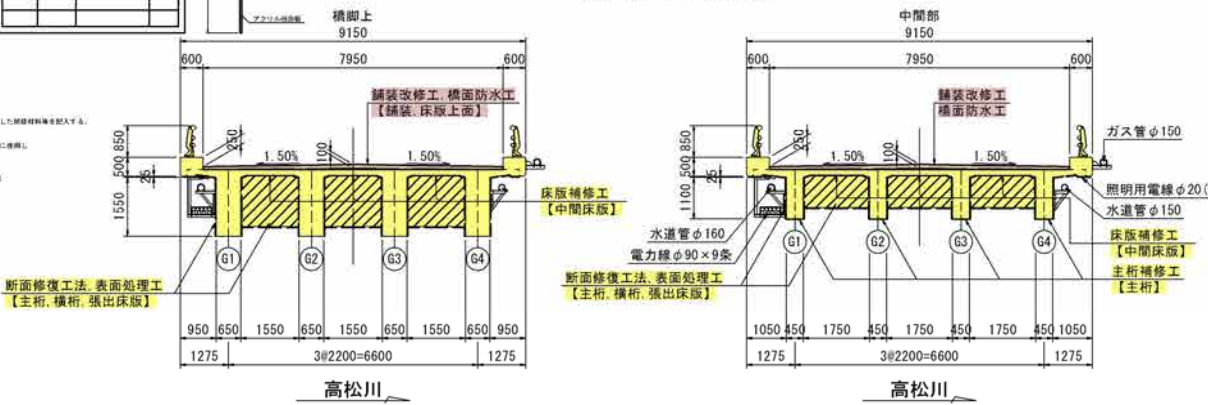
※橋面(地覆、親柱)、橋台、橋脚の損傷部位はそれぞれひびわれ注入工、断面修復工にて補修対策を実施する。

平面図 S=1:100



※橋面(地覆、親柱)、橋台、橋脚の損傷部位はそれぞれひびわれ注入工、断面修復工にて補修対策を実施する。

断面図 S=1:100



補修対策工法一覧表

補修対策工	補修工法	材料・仕様	対象部位	備考
ひびわれ補修工	注入工法	エポキシ樹脂注入材(4種)	橋面、橋台、橋脚	
断面修復工	変形工法or吹付工法	ポリマーセメントモルタル	主桁、横桁、床版、橋台、橋脚	再劣化防止剤(亜硝酸系)含有
表面処理工	表面含浸工	シリコン系含浸材	主桁、横桁、張出床版	
床版補修(補強)工	現況鋼板撤去	鋼板t=4.5mm	中間床版※鋼板補強箇所	
主桁補修(補強)工	炭素繊維補強工	GFRPプレートt=1040	主桁(G1-G4)※鋼板補強箇所	
落橋防止装置取替工	現況復旧	現況同等品(PC鋼橋φ40)	落橋防止装置設置部(ガムシュー部)	
橋面改修工	舗装改修工	アスファルト舗装	舗装	橋面防水工に伴う
	橋面防水工	塗膜系防水層、ベーパーレンAs混合物	床版上面	
	排水装置改修工	排水桝、排水管(SUS304)	排水装置	
	伸縮装置改修工	ゴムジョイント	伸縮装置	
防護欄取替工	ビーム取替	現況同等品(ダクトイル鉄鉄製)	高欄	P2伸縮装置付近 下段1本

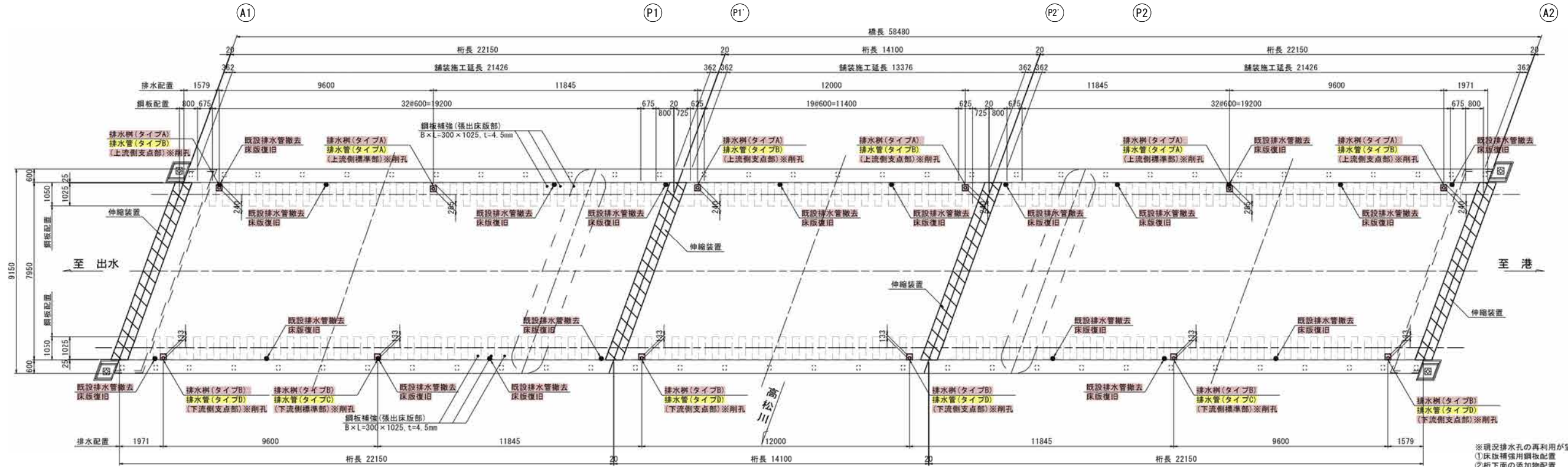
※各補修工の実施に当たっては、現地再測のうえ施工に着手すること。

実施設計図

阿久根市	
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 港橋修繕工事(1工区)
河川名	琴平港橋線
工事箇所	阿久根 都市 港 町 地内
図面種類	港橋 補修対策一般図
縮尺	1/1000
図面番号	全 7 第 1 号

港橋 排水工詳細図（その１）

平面图 S=1:100

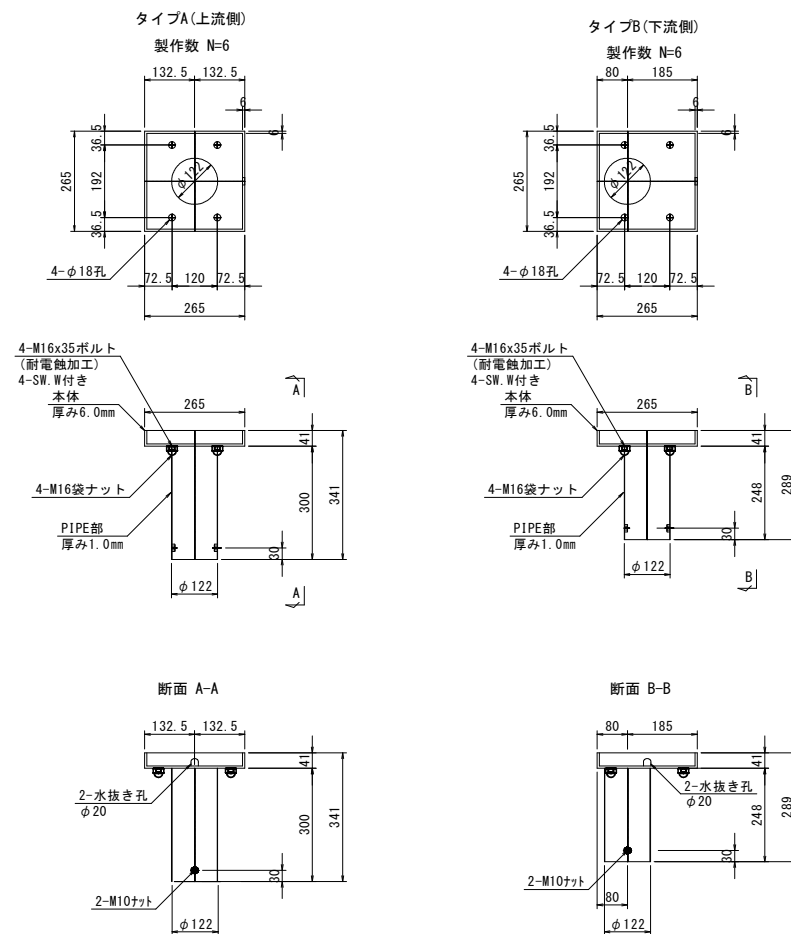
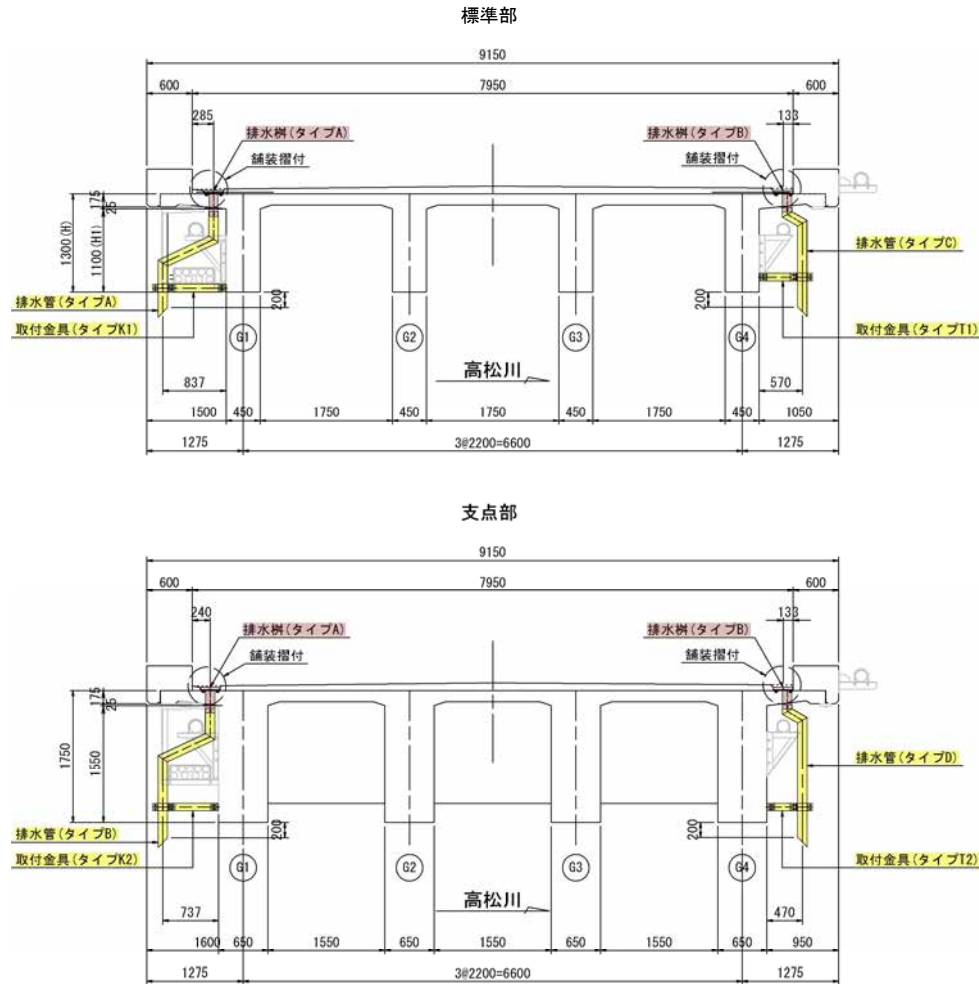


※現況排水孔の再利用が望ましいが、
①床版補強用鋼板配置
②桁下面の添加物配置
との取り合いが懸念されることから、
上記のような配置としている。
舗装撤去後、足場設置の状況で再度
寸法計測の上、最適配置について確認すること。

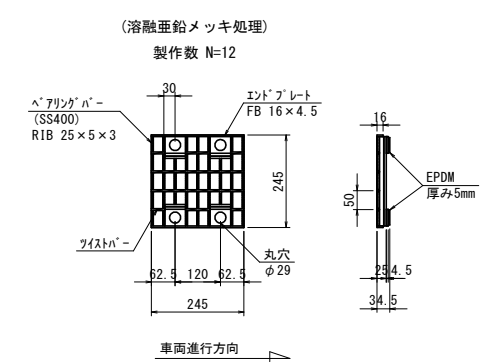
断面図 S=1:50



グレーチング (SS400)



注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. $t=2.0\text{mm}$ 未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
3. 現地調査にて寸法確定後製作する。
(特に排水管取付けで添架管と干渉しないことを確認)



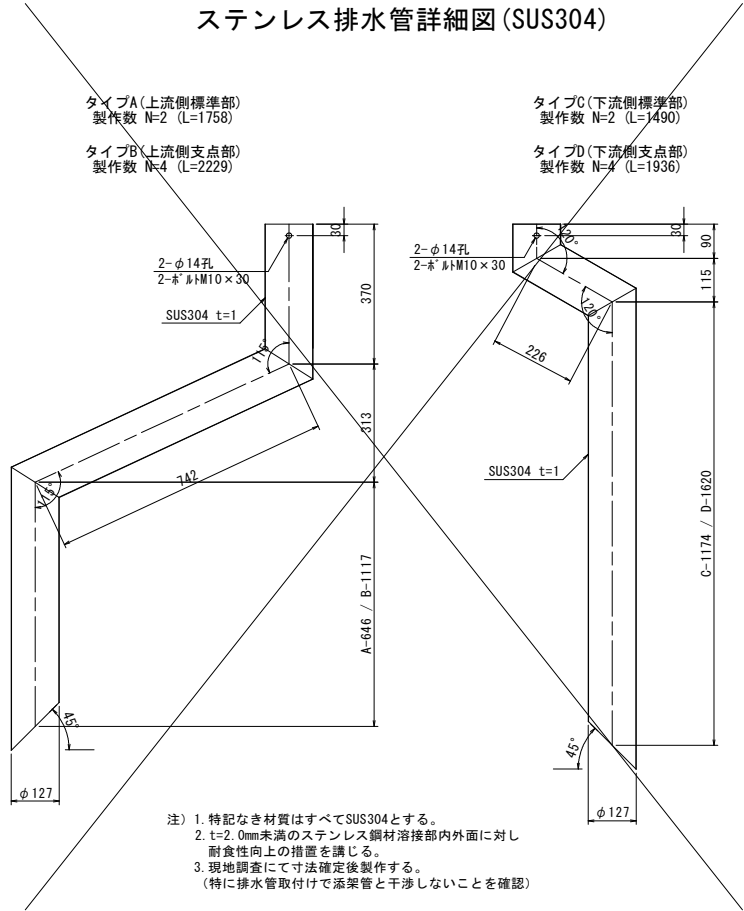
実施設計図

阿久根市	
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 港橋修繕工事（1工区）
河川 路線名	琴平港橋線
工事箇所	阿久根 郡 港 町 地内 市 村
図面種類	港橋 排水工詳細図（その1）
縮尺	図示
図面番号	全 7 葉 第 2 号

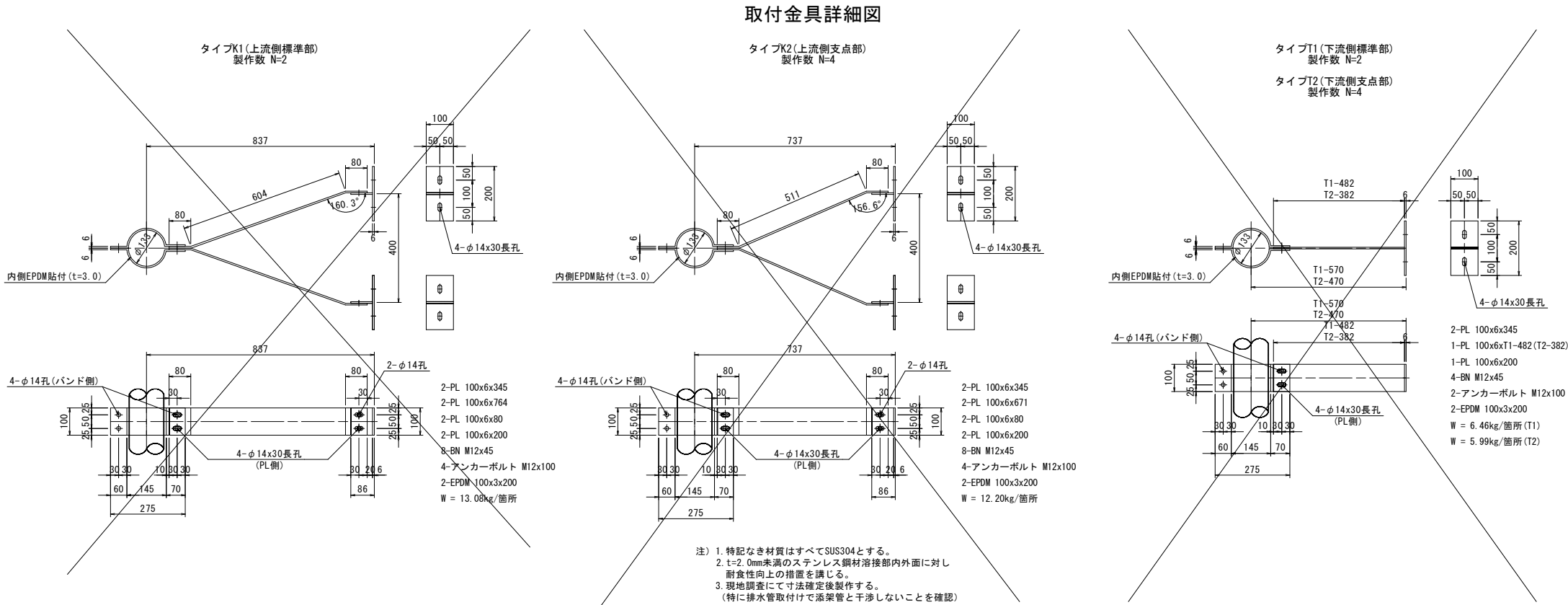
※ 施工の際は、現地再調査の上、設計図面との照査を行うこと。

港橋 排水工詳細図（その2）

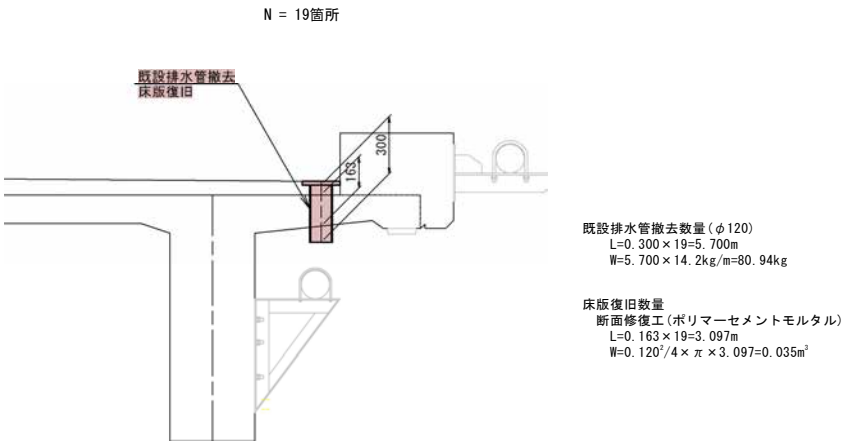
ステンレス排水管詳細図 (SUS304)



取付金具詳細図



既設排水管撤去工参考図



排水工数量集計表

名 称	規 格	単 位	数 量				備 考
			A1-P1	P1-P2	P2-A2	合 計	
排 水 樹	タイプA 265×265×41, φ122×300 (中心配置)	個	2	2	2	6	上流側, SUS304
	タイプB 265×265×41, φ122×300 (偏心配置)	個	2	2	2	6	下流側, SUS304
グレーチング	245×245×25	枚	4	4	4	12	SS400, 溶融亜鉛メッキ
削 孔	φ125×200	箇所	4	4	4	12	
鉄筋探査	0.30×0.30=0.09m ² /箇所	箇所	4	4	4	12	
既設排水管 撤去工	φ120 (鋼管), L=0.300m/箇所	箇所	9	2	8	19	単位重量: γ=14.20kg/m
		m	2.700	0.600	2.400	5.700	単位重量: γ=14.20kg/m
		kg	38.34	8.52	34.08	80.94	
断面修復工	ポリマーセメントモルタル	m ²	0.017	0.003	0.015	0.035	床版復旧 (既設排水管部)

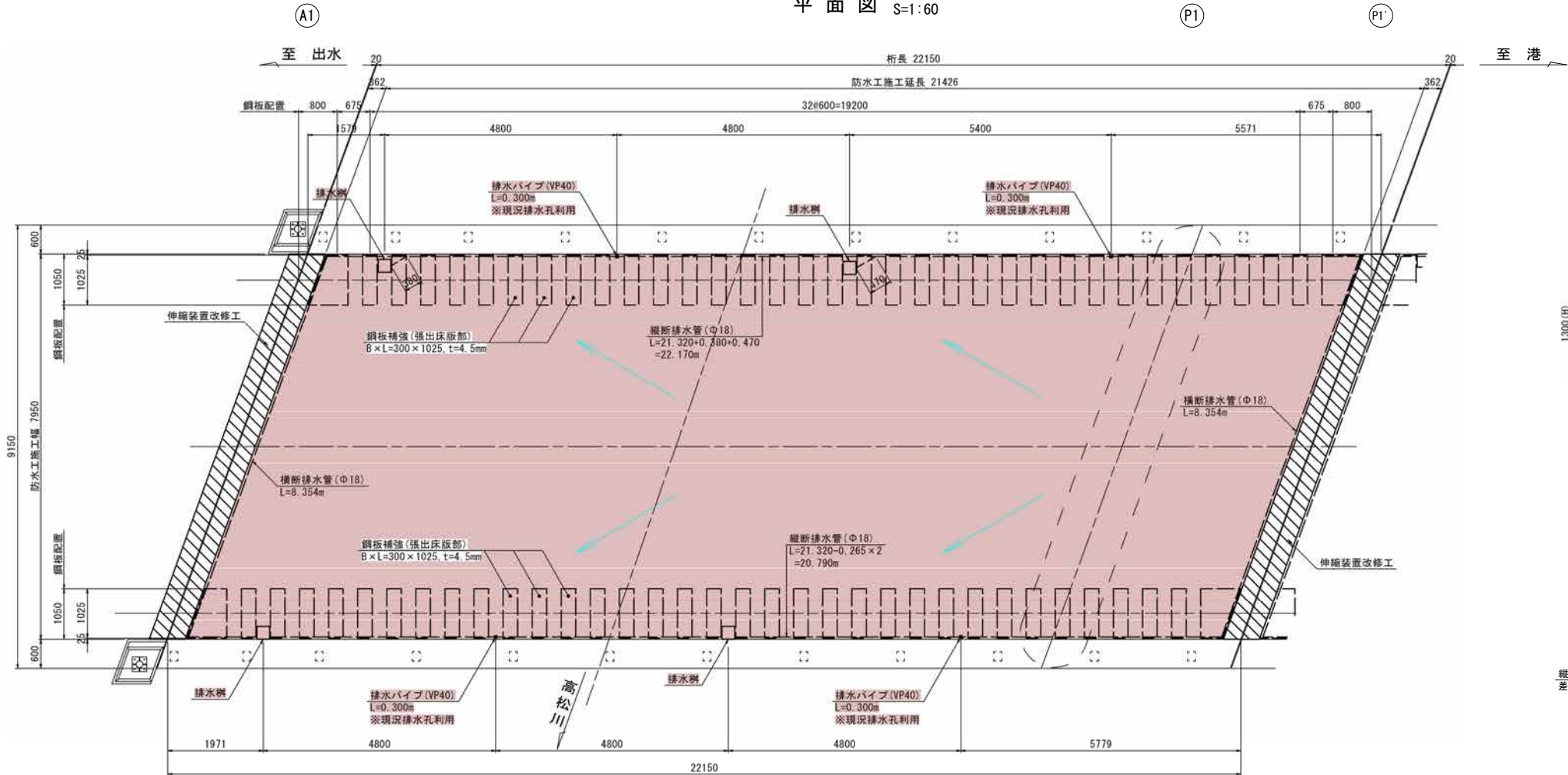
※ 施工の際は、現地再調査の上、設計図面との照査を行うこと。

実施設計図

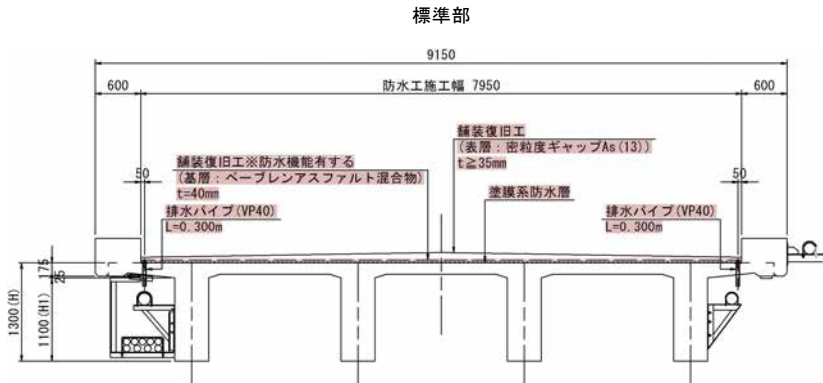
阿 久 根 市	
工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 港橋修繕工事 (1工区)
河川 路 線 名	琴平港橋線
工事箇所	阿久根 郡 港 町 地内 市 市 村
図面種類	港橋 排水工詳細図 (その2)
縮 尺	図 示
図面番号	全 7 葉 第 3 号

港橋 橋面防水工（その１）

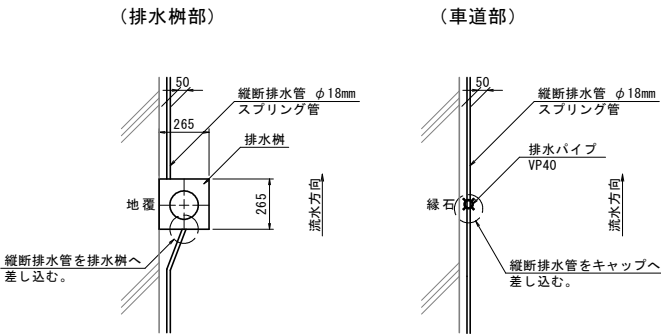
平面図 S=1:60



断面図 S=1:50

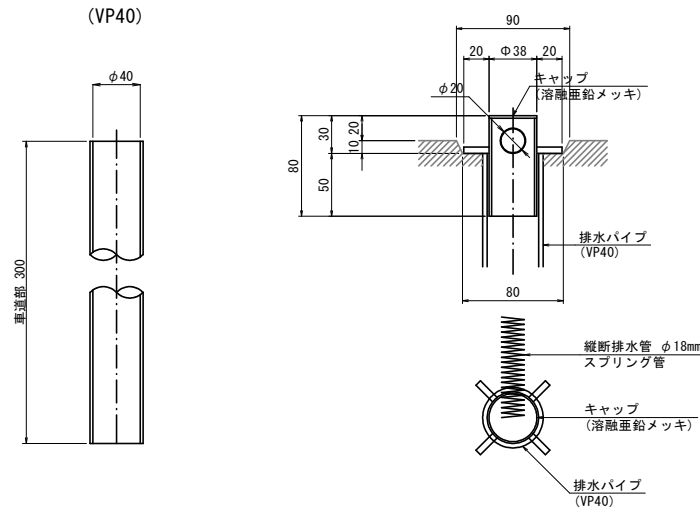


排水管配置図 S=1:20

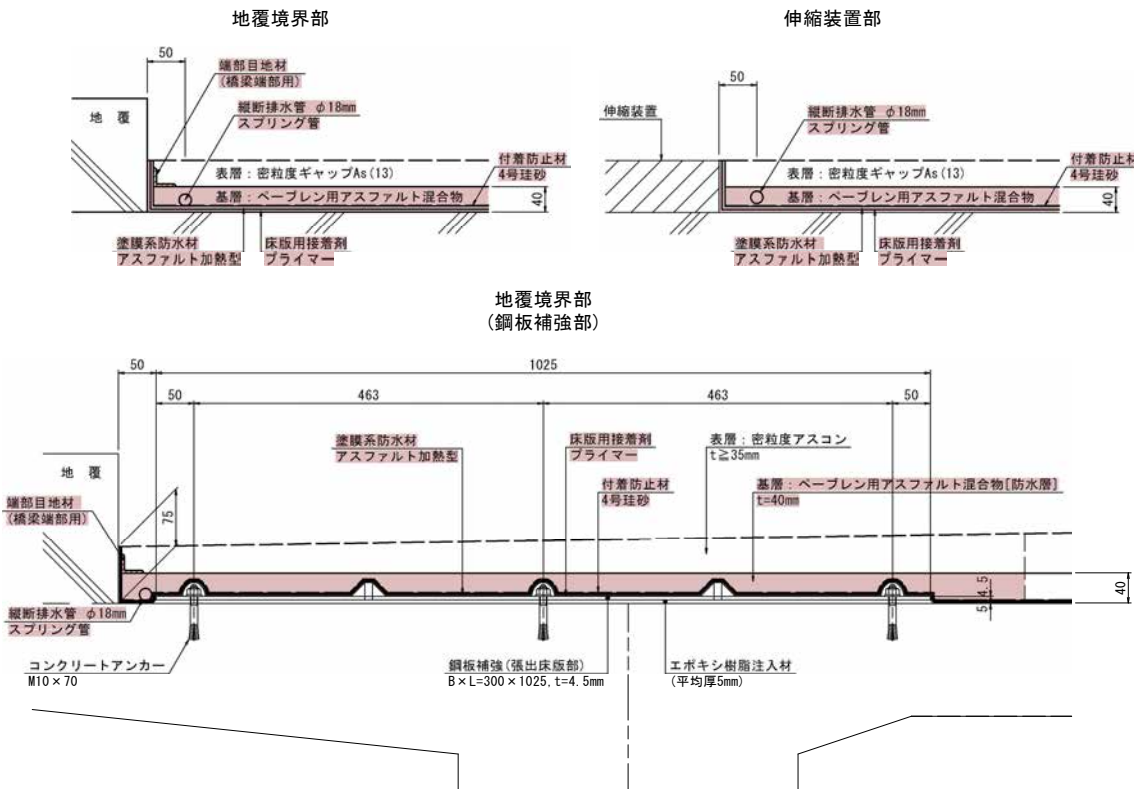


排水管詳細図 S=1:3

キャップ詳細図 S=1:3



端部処理詳細図 S=1:5



※注1. 水抜き孔を削孔する際は、現地計測の上、主桁、横桁、床版の鉄筋を切断しないように注意すること。
※注2. 現況計測結果より既存の排水孔が近傍にある場合は、それを利用することを推奨する。
※注3. 床版補強用鋼板の配置は竣工時図書をもとに復元しているが、舗装撤去後に再度確認を行い、必要に応じて排水孔の位置を調整すること。

A1-P1' 径間 (1-2径間)	
橋面防水面積	A=7,950×21,426-0.265×0.265×4 =170.055㎡
端部目地材	L=21,426×2=42,852m
縦断排水管	L=22,170+20,790=42,960m
横断排水管	A=8,354×2=16,708m
排水パイプ (VP40)	L=0,300×4=1,200m
キャップ	N=4箇所
削孔 φ50×200	N=0箇所

防水工数量集計表

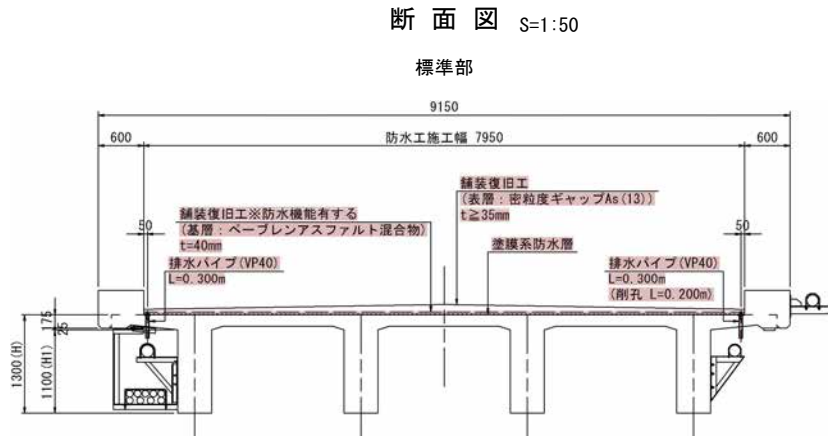
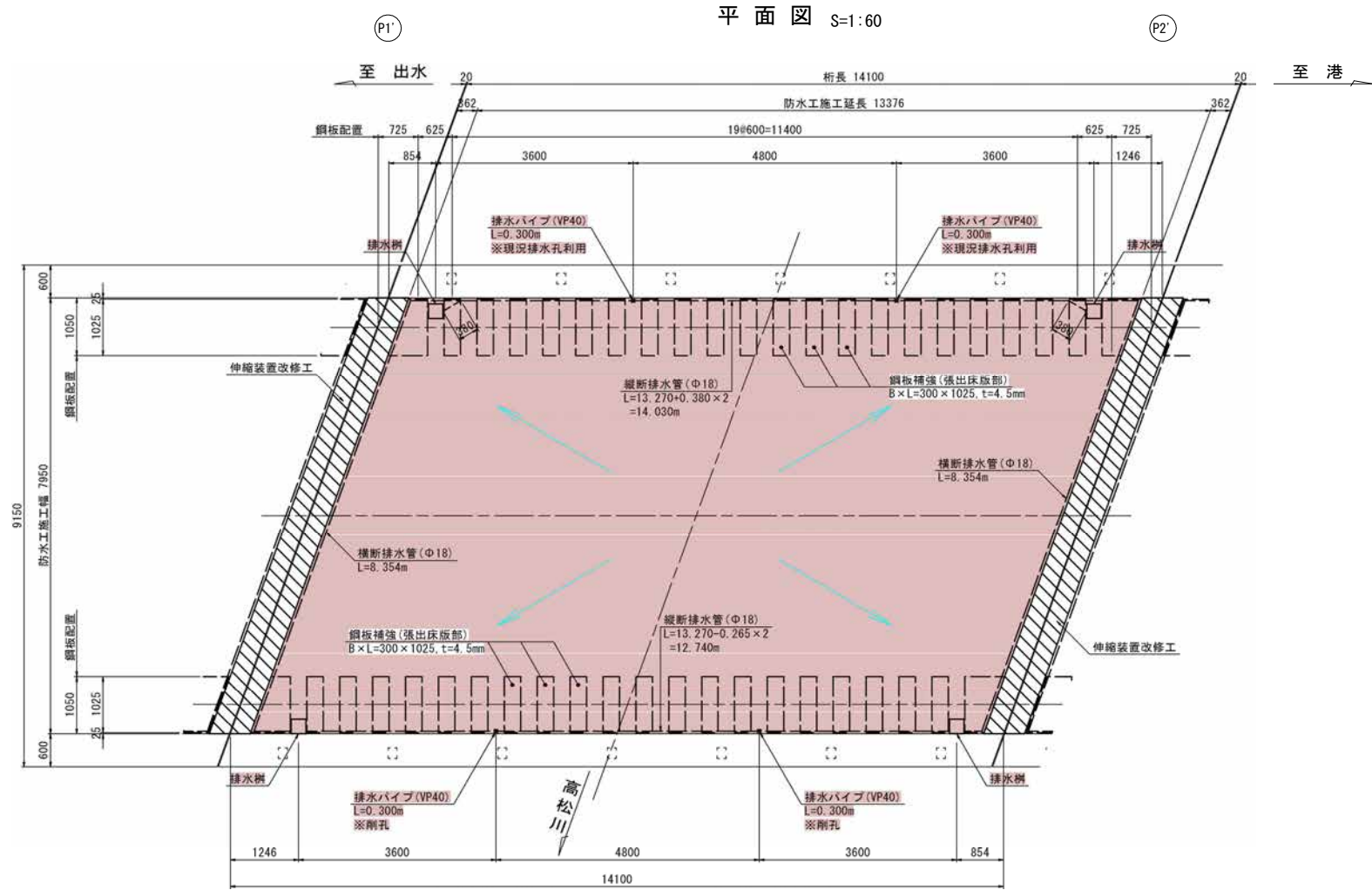
名 称	規 格	単 位	数 量				備 考
			A1-P1'	P1'-P2'	P2'-A2	合 計	
防 水 層	塗 膜 系	m ²	170.055	106.058	170.055	446.168	
舗装 (基層)	ペーレン用アスファルト混合物 [防水層], t=40mm	m ²	170.055	106.058	170.055	446.168	
縦断排水管	スプリング管 φ18mm	m	42.960	26.770	42.960	112.690	溶融垂鉛メッキ (HDZ35) と同等品以上
横断排水管	スプリング管 φ18mm	m	16.708	16.708	16.708	50.124	
端部目地材		m	42.852	26.752	42.852	112.456	橋梁端部用 ※参考数量
排水パイプ	床版部パイプ (VP40)	m	1,200	1,200	1,200	3,600	直管, L=0.300m/本
キャップ		箇所	4	4	4	12	溶融垂鉛メッキ (HDZ35)
コンクリート削孔	φ50×200	箇所	0	2	0	2	床版部: 鉛直方向

※ 施工の際は、現地再調査の上、設計図面との照査を行うこと。

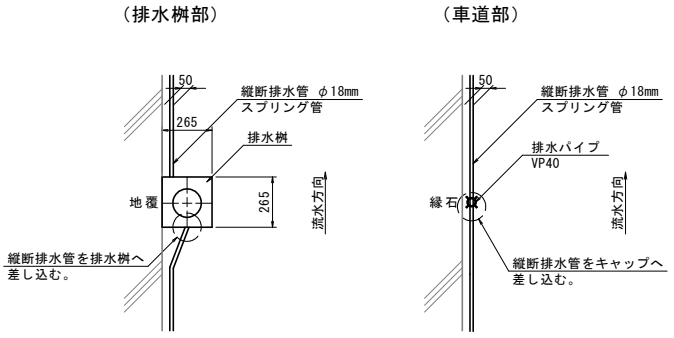
実施設計図

阿 久 根 市	
工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 港橋修繕工事 (1工区)
河川名	琴平港橋線
工事箇所	阿久根 郡 港 町 地内
図面種類	港橋 橋面防水工 (その1)
縮 尺	図 示
図面番号	全 7 葉 第 4 号

港橋 橋面防水工（その2）

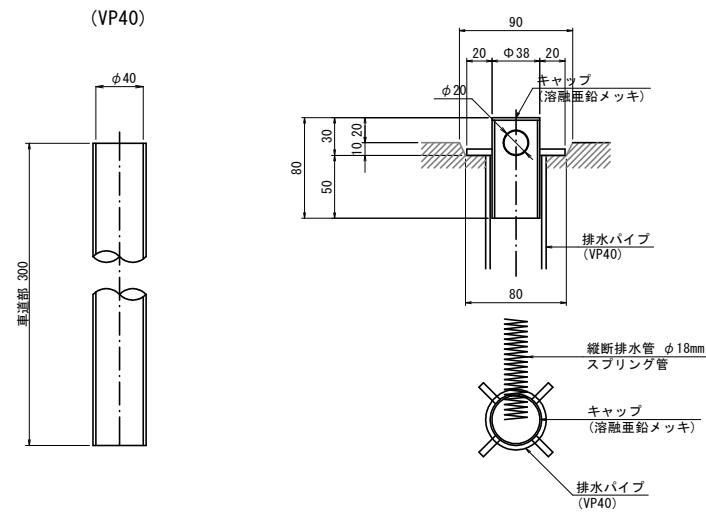


排水管配置図 S=1:20

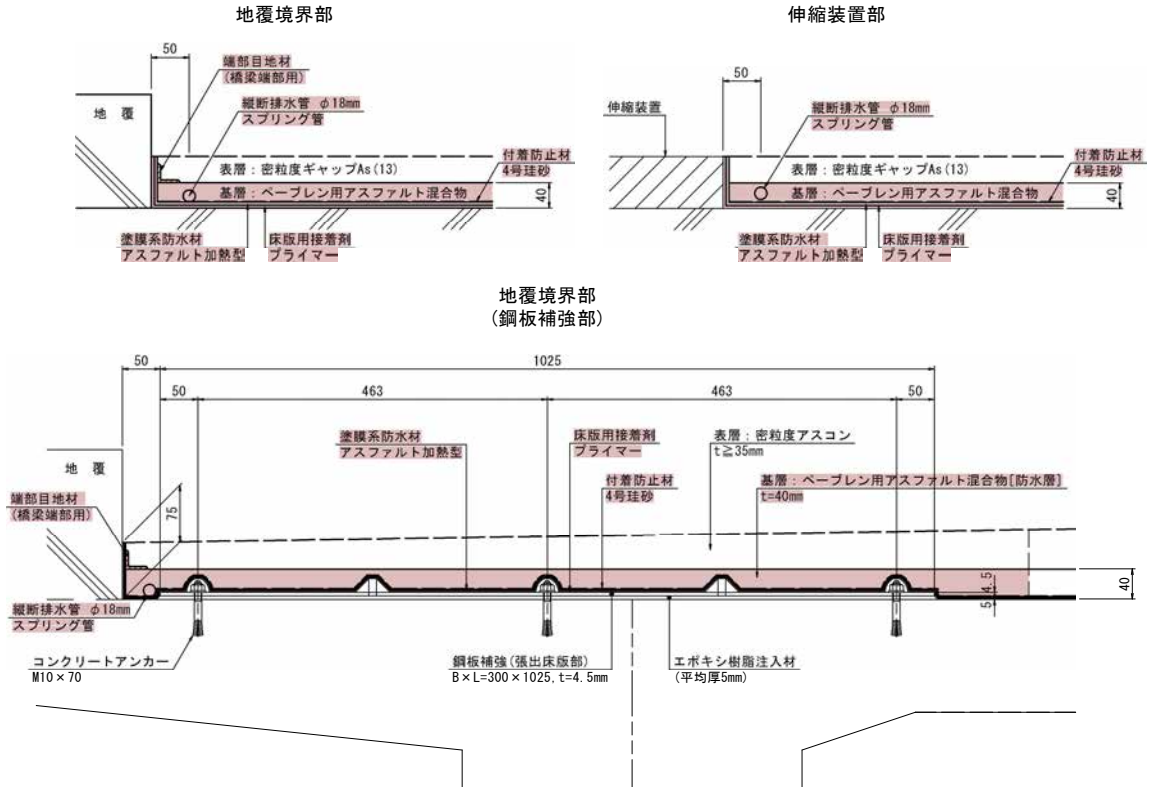


排水管詳細図 S=1:3

キャップ詳細図 S=1:3



端部処理詳細図 S=1:5



P1'-P2' 径間 (2径間)

橋面防水面積	A=7,950×13,376-0.265×0.265×4 =106.058㎡
端部目地材	L=13,376×2=26.752m
縦断排水管	L=14,030+12,740=26.770m
横断排水管	A=8,354×2=16.708m
排水パイプ (VP40)	L=0.300×4=1.200m
キャップ	N=4箇所
削孔 φ50×200	N=2箇所

防水工数量集計表

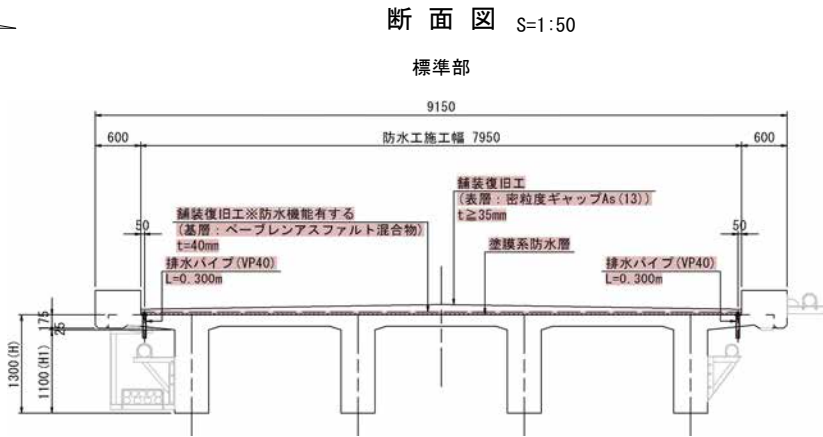
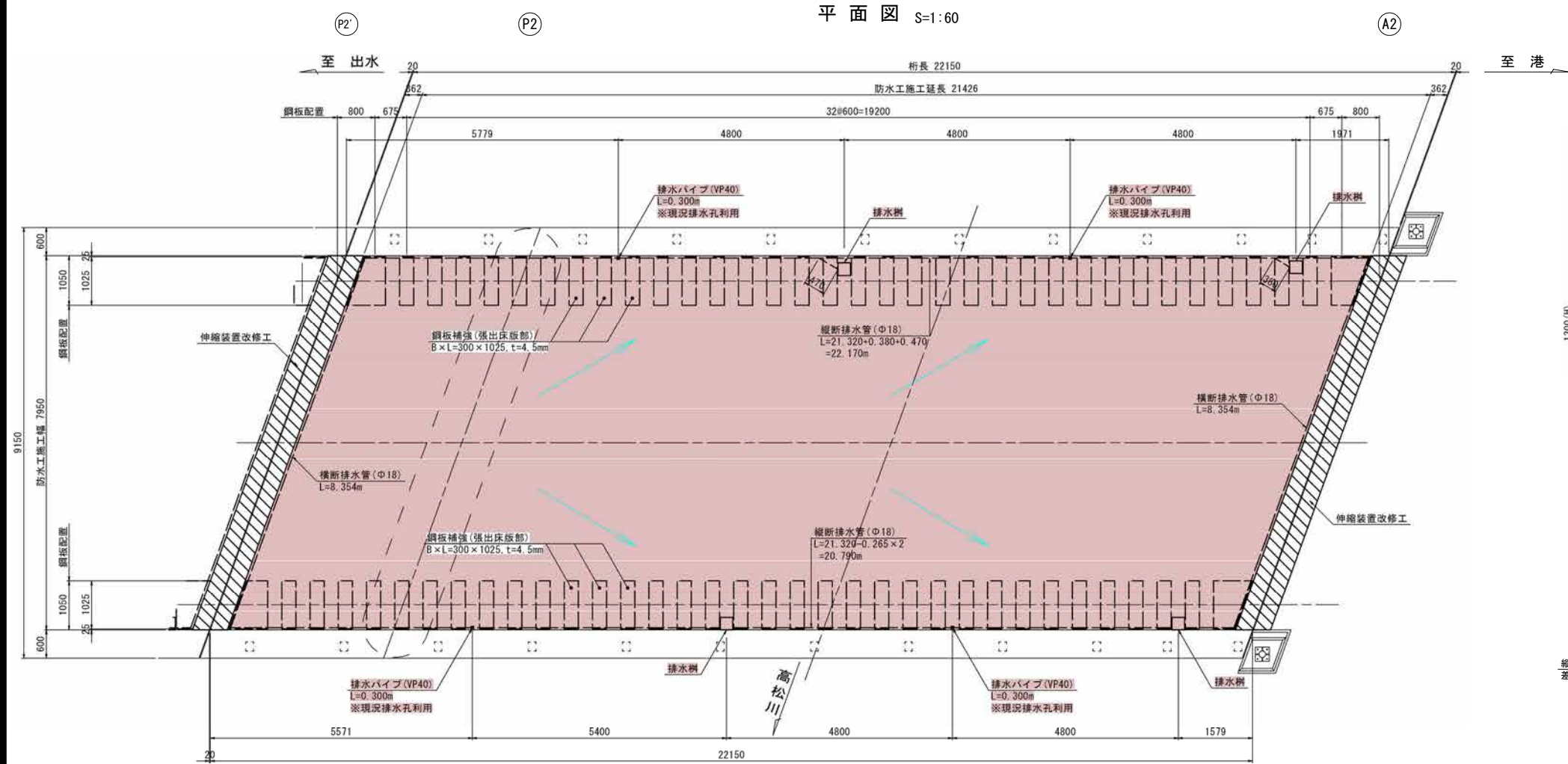
名 称	規 格	単 位	数 量				備 考
			A1-P1'	P1'-P2'	P2'-A2	合 計	
防 水 層	塗 膜 系	m ²	170.055	106.058	170.055	446.168	
舗装 (基層)	ペーレン用アスファルト混合物 [防水層], t=40mm	m ²	170.055	106.058	170.055	446.168	
縦断排水管	スプリング管 φ18mm	m	42.960	26.770	42.960	112.690	溶融垂鉛メッキ (HDZ35) と同等品以上
横断排水管	スプリング管 φ18mm	m	16.708	16.708	16.708	50.124	
端部目地材		m	42.852	26.752	42.852	112.456	橋梁端部用 ※参考数量
排水パイプ	床版部パイプ (VP40)	m	1.200	1.200	1.200	3.600	直管, L=0.300m/本
キャップ		箇所	4	4	4	12	溶融垂鉛メッキ (HDZ35)
コンクリート削孔	φ50×200	箇所	0	2	0	2	床版部: 鉛直方向

※ 施工の際は、現地再調査の上、設計図面との照査を行うこと。

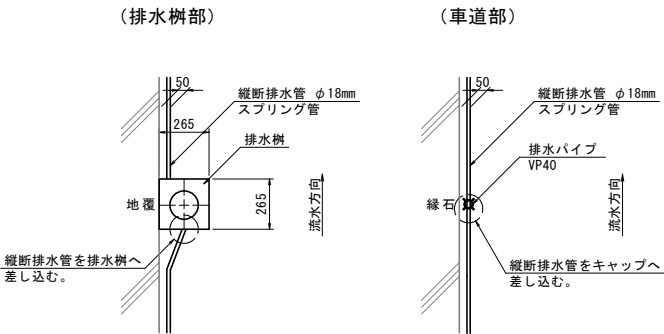
実施設計図

阿 久 根 市	
工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 港橋修繕工事 (1工区)
河川名	琴平港橋線
工事箇所	阿久根 郡 港 町 地内
図面種類	港橋 橋面防水工 (その2)
縮 尺	図 示
図面番号	全 7 葉 第 5 号

港橋 橋面防水工（その3）

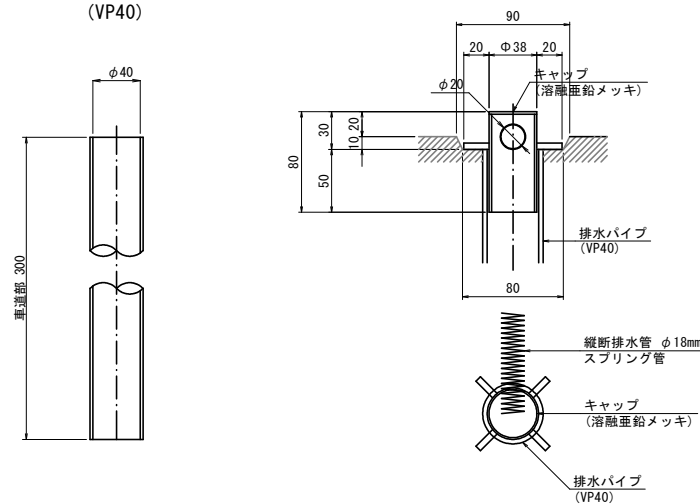


排水管配置図 S=1:20

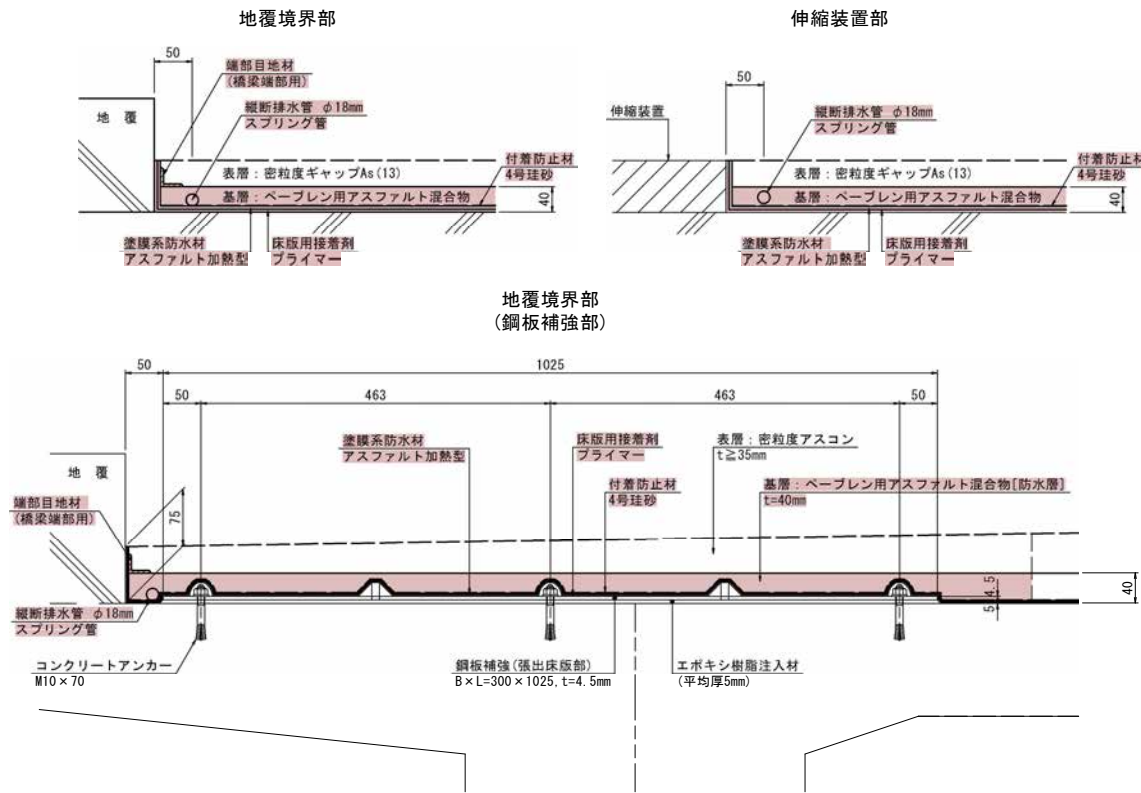


排水管詳細図 S=1:3

キャップ詳細図 S=1:3



端部処理詳細図 S=1:5



※注1. 水抜き孔を削孔する際は、現地計測の上、主桁、横桁、床版の鉄筋を切断しないように注意すること。
※注2. 現況計測結果より既存の排水孔が近傍にある場合は、それを利用することを推奨する。
※注3. 床版補強用鋼板の配置は竣工時図書をもとに復元しているが、舗装撤去後に再度確認を行い、必要に応じて排水孔の位置を調整すること。

P2'-A2径間 (2-3径間)

橋面防水面積	A=7,950×21,426-0.265×0.265×4 =170.055㎡
端部目地材	L=21,426×2=42,852m
縦断排水管	L=22,170+20,790=42,960m
横断排水管	A=8,354×2=16,708m
排水パイプ (VP40)	L=0,300×4=1,200m
キャップ	N=4箇所
削孔 φ50×200	N=0箇所

防水工数量集計表

名 称	規 格	単 位	数 量				備 考
			A1'-P1'	P1'-P2'	P2'-A2	合 計	
防 水 層	塗 膜 系	m ²	170.055	106.058	170.055	446.168	
舗装 (基層)	ペーレン用アスファルト混合物 [防水層], t=40mm	m ²	170.055	106.058	170.055	446.168	
縦断排水管	スプリング管 φ18mm	m	42.960	26.770	42.960	112.690	溶融垂鉛メッキ (HDZ35) と同等品以上
横断排水管	スプリング管 φ18mm	m	16.708	16.708	16.708	50.124	
端部目地材		m	42.852	26.752	42.852	112.456	橋梁端部用 ※参考数量
排水パイプ	床版部パイプ (VP40)	m	1,200	1,200	1,200	3,600	直管, L=0,300m/本
キャップ		箇所	4	4	4	12	溶融垂鉛メッキ (HDZ35)
コンクリート削孔	φ50×200	箇所	0	2	0	2	床版部: 鉛直方向

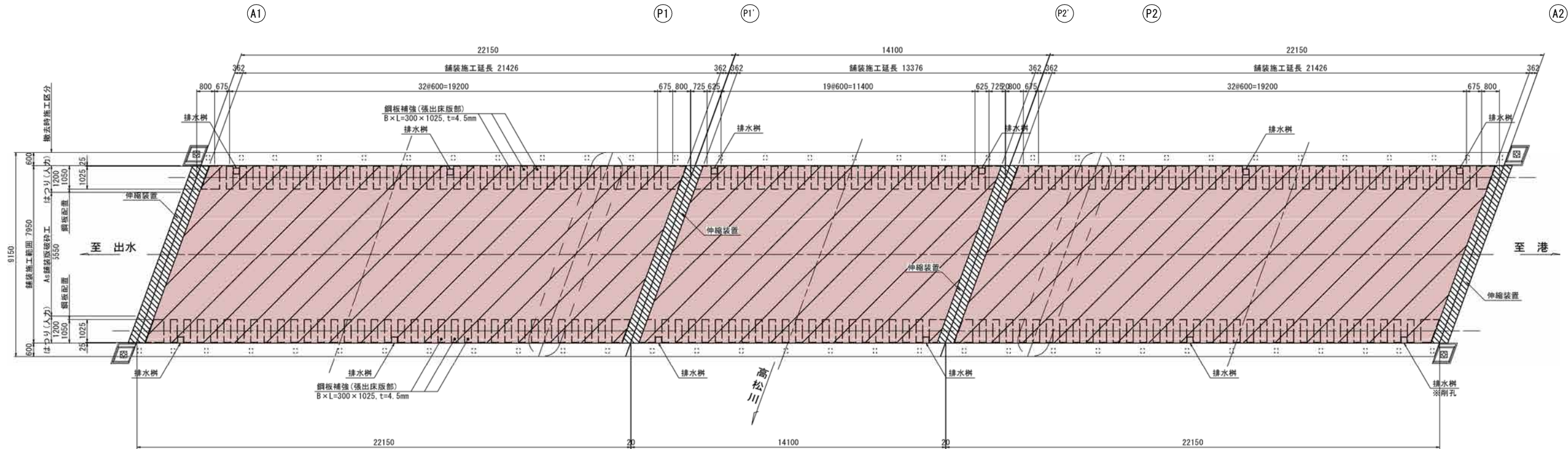
※ 施工の際は、現地再調査の上、設計図面との照査を行うこと。

実施設計図

阿 久 根 市	
工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 港橋修繕工事 (1工区)
河川名	琴平港橋線
工事箇所	阿久根 郡 港 町 地内
図面種類	港橋 橋面防水工 (その3)
縮 尺	図 示
図面番号	全 7 葉 第 6 号

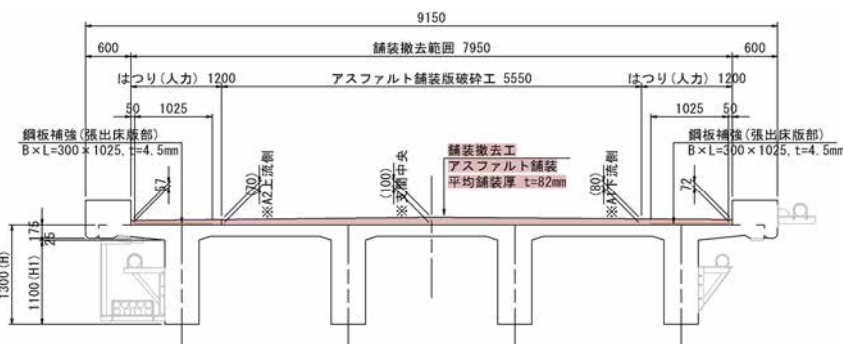
港橋 舗装工詳細図

平面図 S=1:100



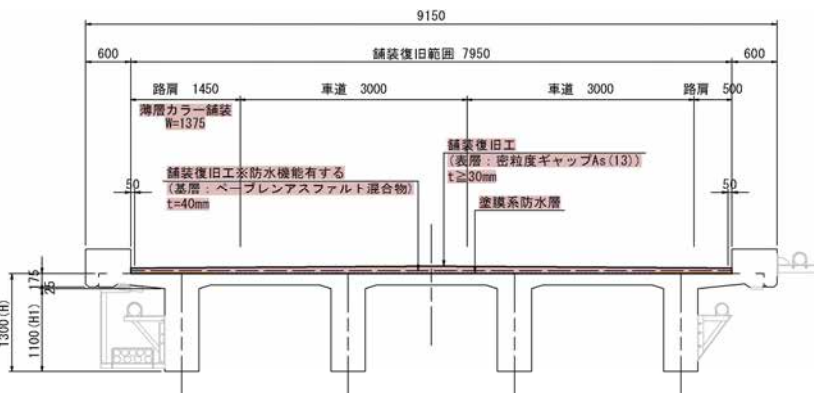
断面図 S=1:50

舗装撤去工



※注1. ()内は、舗装厚調査にて確認した舗装厚
※注2. 鋼板補強が想定される箇所は、人力はつり工にてAs舗装を撤去し、鋼板及び床版を傷つけないように注意すること。

舗装復旧工



注1. 舗装復旧における舗装厚は、現況程度を想定する。
ただし基層: t=40mm, 表層: t=30mmを最低舗装厚とし調整すること。
注2. 基層: ベーレンアスファルト舗装混合物は塗膜系防水層と併せて、防水層を形成するものであるから、防水仕様を確認すること。

舗装工 (A1-P1')

舗装取壊し工 (アスファルト舗装)

アスファルト舗装版破砕工	A = 5.550 × 21.426 = 118.914m ²
人力はつり工	A = 1.200 × 2 × 21.426 = 51.422m ²
平均舗装厚	t = [(57+100)/2 × 3975 + (100+72)/2 × 3975] / 7950 = 82mm
舗装撤去体積	V = (118.914 + 51.422) × 0.082 = 13.967m ³
廃材運搬・処分工	W = 13.968 × 2.35 = 32.822t
舗装復旧面積	A = 7.950 × 21.426 - 0.265 × 0.265 × 4 = 170.055m ²
アスファルト舗装厚	表層: 密粒度アスコン t=42mm ※基層は「橋面防水工」にて計上
区画線工 W=15cm	L = 21.426 × 2 = 42.852m
外側線	L = 21.426/2 = 10.713m
中央線	L = 21.426/2 = 10.713m
区画線工 W=45cm	L = 3.000 - 0.150 = 2.850m
停止線	L = 3.000 - 0.150 = 2.850m
薄層カラー舗装工	A = 1.375 × 21.426 = 29.461m ²

舗装工 (P1'-P2')

舗装取壊し工 (アスファルト舗装)

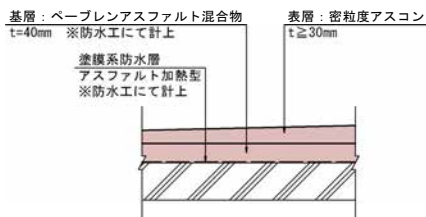
アスファルト舗装版破砕工	A = 5.550 × 13.376 = 74.236m ²
人力はつり工	A = 1.200 × 2 × 13.376 = 32.102m ²
平均舗装厚	t = [(57+100)/2 × 3975 + (100+72)/2 × 3975] / 7950 = 82mm
舗装撤去体積	V = (74.237 + 32.102) × 0.082 = 8.719m ³
廃材運搬・処分工	W = 8.720 × 2.35 = 20.489t
舗装復旧面積	A = 7.950 × 13.376 - 0.265 × 0.265 × 4 = 106.058m ²
アスファルト舗装厚	表層: 密粒度アスコン t=42mm ※基層は「橋面防水工」にて計上
区画線工 W=15cm	L = 13.376 × 2 = 26.752m
外側線	L = 13.376/2 = 6.688m
中央線	L = 13.376/2 = 6.688m
区画線工 記号	L = 16.500m (15cm換算) (横断歩道予告 1個)
薄層カラー舗装工	A = 1.375 × 13.376 = 18.392m ²

舗装工 (P2'-A2)

舗装取壊し工 (アスファルト舗装)

アスファルト舗装版破砕工	A = 5.550 × 21.426 = 118.914m ²
人力はつり工	A = 1.200 × 2 × 21.426 = 51.422m ²
平均舗装厚	t = [(57+100)/2 × 3975 + (100+72)/2 × 3975] / 7950 = 82mm
舗装撤去体積	V = (118.914 + 51.422) × 0.082 = 13.967m ³
廃材運搬・処分工	W = 13.968 × 2.35 = 32.822t
舗装復旧面積	A = 7.950 × 21.426 - 0.265 × 0.265 × 4 = 170.055m ²
アスファルト舗装厚	表層: 密粒度アスコン t=42mm ※基層は「橋面防水工」にて計上
区画線工 W=15cm	L = 21.426 × 2 = 42.852m
外側線	L = 21.426/2 = 10.713m
中央線	L = 21.426/2 = 10.713m
区画線工 記号	L = 16.500m (15cm換算) (横断歩道予告 1個)
薄層カラー舗装工	A = 1.375 × 21.426 = 29.461m ²

舗装工詳細図 S=1:10



舗装工数量集計表

(1橋当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量				備 考
			A1-P1'	P1'-P2'	P2'-A2	合 計	
取壊し工	アスファルト舗装版破砕工	m ²	118.914	74.236	118.914	312.064	
	人力はつり工	m ²	51.422	32.102	51.422	134.946	
	舗装体積	m ³	13.967	8.719	13.967	36.653	平均舗装厚 t=82mm
廃材運搬・処分工	アスファルト	t	32.822	20.489	32.822	86.133	
	舗装復旧	表層: 密粒度ギャップAs (13) t=42mm	170.055	106.058	170.055	446.168	
区画線工	白 実線 W=15cm	m	42.852	26.752	42.852	112.456	外側線
	白 破線 W=15cm	m	10.713	6.688	10.713	28.114	中央線
	白 実線 W=45cm	m	2.850			2.850	停止線
	記号 W=15cm換算	m		16.500	16.500	33.000	横断歩道予告 (ひし形 2個)
薄層カラー舗装工		m ²	29.460	18.392	29.460	77.312	

※ 施工の際は、現地再調査の上、設計図面との照査を行うこと。

実施設計図

阿 久 根 市	
工 事 名	令和8年度 道路メンテナンス事業 港橋修繕工事 (1工区)
河川 路 線 名	琴平港橋線
工事箇所	阿久根 都 港 町 地内 市 市 村
図面種類	港橋 舗装工詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	全 7 葉 第 7 号